

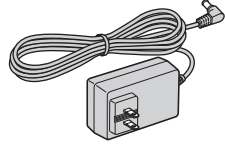
付属品の確認



設置、接続の前にまず付属品を確かめてください。

- イラストはイメージイラストであり、実物とは形状が異なる場合があります。
- 付属品を紛失された場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

□ ACアダプター……………〈1〉
( 15ページ)

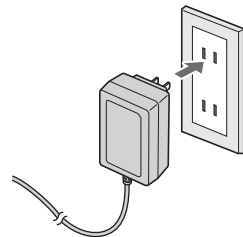


< > は個数です。

正常に動作しない場合

下記の方法で本機を再起動してください。

- ACアダプターを一度抜き、約1分後に再度ACアダプターを差し込む。



愛情点検 長年ご使用の無線 LAN 対応ケーブルモデムの点検を！



こんな症状は
ありませんか？

- 映像も音も出ない。
- 映像が時々消える。
- 異常な臭いや音がする。
- 水や異物が入った。

このような症状のときは使用を中止し、故障や事故防止のため、コンセントから AC アダプターを抜いて、必ずご加入のケーブルテレビ局に点検をご相談ください。

便利メモ

おぼえのため
記入されると
便利です。

ご加入 (契約) 日	年 月 日	品 番	TZ-CMP01M
ケーブルテレビ局 および お客様相談室	()	-	
ID 番号 (67ページの「ステータス表示」画面で確認 できる「カードID」と「STB-ID」を記入して ください。問い合わせのときに必要な場合 があります。)	ID 番号	C-CAS カード (カード ID)	
		B-CAS カード (カード ID)	
		CATV-ID (STB-ID)	

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

パナソニック株式会社 AVC ネットワークス社

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

© Panasonic Corporation 2013

無線 LAN 対応ケーブルモデム

TZ-CMP01M

取扱説明書


Panasonic®

取扱説明書

無線 LAN 対応ケーブルモデム

品番 TZ-CMP01M



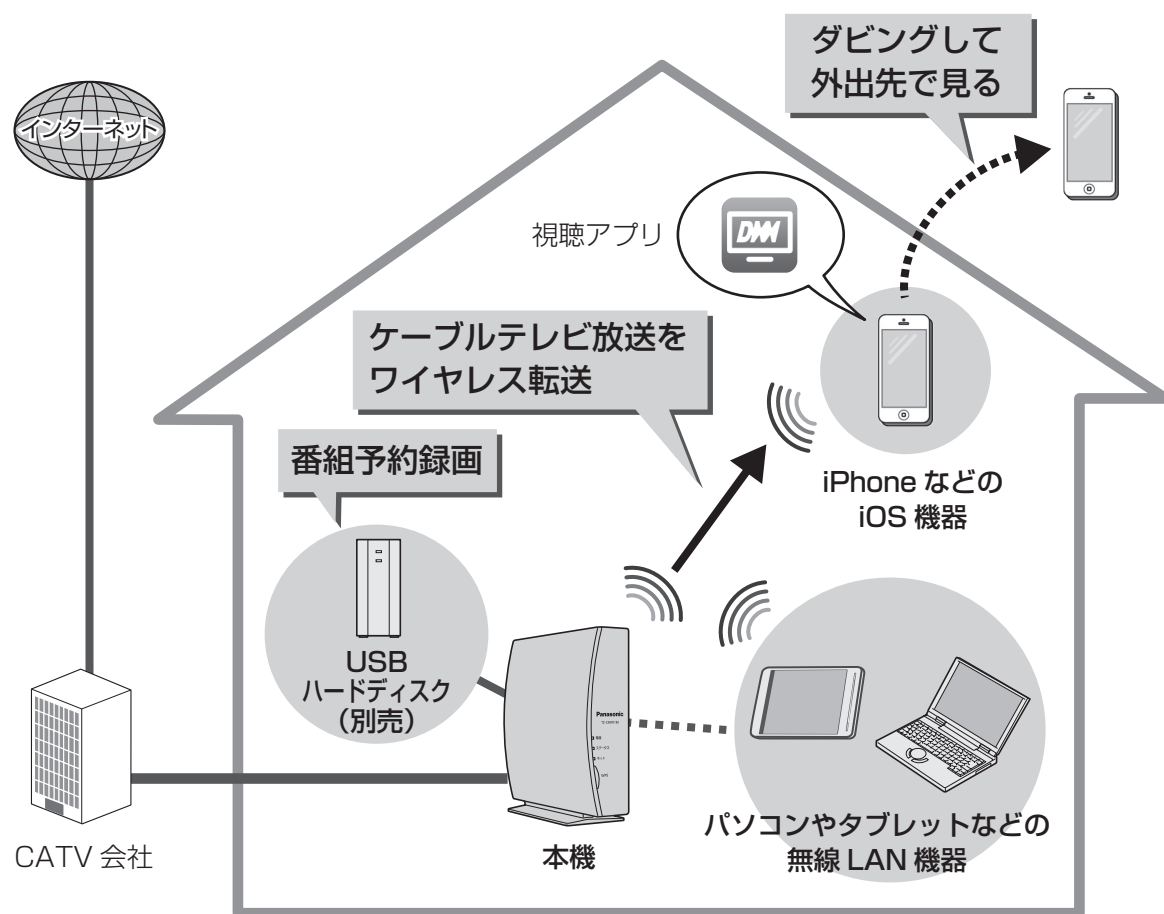
- このたびは、ケーブルテレビ局にご加入くださりまして、まことにありがとうございました。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」( 4~7ページ) を必ずお読みください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。



TQBX0403-2

S0813-2024

本機の特長と楽しみかた



- **ケーブルテレビの放送をiOS機器(iPhone/iPadなど)で視聴^{*1}。**
本機はケーブルテレビの放送をワイヤレスで宅内のiOS機器に転送できるケーブルモデムです。(本書では「放送転送」と表記しています。)
- **見たい番組を録画予約^{*2}。**
別売のUSBハードディスクを接続すると、宅内外のPC/スマートフォンからの録画予約や、宅内のiOS機器で録画番組の再生ができます。また、録画した番組はiOS機器にダビング(ムーブ/コピー)して外出先で見することもできます^{*1}。
- **無線LANルーター搭載。**
スマートフォンやタブレット、パソコンなどのネットワーク機器とワイヤレスで接続できます。
本機は、IEEE802.11a/b/g/n規格に準拠した製品です。

^{*1} 専用の視聴アプリ(無料)を、iOS機器にインストールする必要があります。
^{*2} 対応サービスへの加入登録が必要です。また、録画予約の方法はご加入のケーブルテレビ局により異なります。詳しくはケーブルテレビ局にお問い合わせください。

もくじ

「安全上のご注意」を必ずお読みください
(👉 4~7ページ)

ページ	確認
2	本機の特長と楽しみかた
4	安全上のご注意
8	使用上のご注意
10	各部のはたらき (前面/背面/表示ランプについて)

ページ	接続・設定
12	ケーブルテレビ宅内線の接続
13	B-CAS/C-CASカードの挿入
14	ネットワーク機器との接続
16	無線LAN接続例(スマートフォン)
16	スマートフォンとの接続
17	WPS接続
18	無線LANの接続方法について (スマートフォン)
19	無線LAN接続例(PCなど)
19	PCなどとの接続
20	無線LANで接続するための準備
23	接続方法について(PCなど)
26	有線LAN接続例(PCなど)
26	PCなどとの接続
27	有線LANで接続するための準備
30	USBハードディスクの接続

ページ	視聴・再生
32	放送を視聴する
32	DiXiM CATV Player とは
33	DiXiM CATV Player アプリのダウンロード
34	アクティベーション作業とCA証明書のインストール
35	現在放送中の番組を見る (チャンネルリスト/お好みリスト/ 3桁入力)
37	視聴中画面の操作方法
38	録画番組を再生する
39	録画番組をダビングする
40	番組を見ながらインターネットを楽しむ
41	アプリの設定を変更する

ページ	録画
42	録画予約する(リモート予約)

ページ	本機の設定
43	本機を設定する
43	PC/スマートフォンから本機を設定するには
44	ルーター機能の設定
44	メイン(ルーター情報/動作モード)
46	インターネット(接続状態/接続設定/ DDNS)
47	LAN(LAN設定/DHCPサーバー/ DHCP固定割り当て設定)
49	無線LAN(無線LAN設定/WPS/ セカンダリ無線LAN設定)
55	詳細設定 (ポートフォワード/ファイアウォール/ MACフィルター/ウェブサイトフィルター/ DMZ/ルーティング/QoS/ALG/UPnP/ その他設定)
59	管理(管理者/日付と時刻/システム/ ファームウェア/ログ/接続テスト)
62	ケーブルモデム
63	放送システムの設定
64	設置設定(受信設定/カードテスト/ 特殊選局要求)
65	LAN設定(IPアドレス自動取得/ DNS-IP自動取得/接続テストの実施/ MACアドレス)
67	放送メール
67	ステータス表示
67	ボード表示
68	予約履歴
68	録画設定(機器パスワード初期化/ 機器ID/機器接続状態/DR録画)
69	USB HDD機器一覧
70	ソフトウェア更新設定 (放送ダウンロード予約/ソフトウェア更新)
70	設定リセット

ページ	必要なとき
71	設定メニュー
72	Q&A
74	メッセージ表示一覧
75	仕様
76	商標などについて
76	お手入れ
77	無線LAN使用上のご注意
78	さくいん

安全上のご注意

確認

接続・設定

視聴・再生

録画

本機の設定

必要なとき



安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

警告

異常・故障について

異常・故障時は直ちに使用を中止してください

異常があったときはACアダプターを抜いてください

- ・煙が出たり、異常な臭いや音がする
- ・映像や音声が出ないことがある
- ・内部に水などの液体や異物が入った
- ・本機に変形や破損した部分がある

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

- すぐにACアダプターをコンセントから抜いてケーブルテレビ局に修理をご相談ください。
- お客様による修理は危険ですから、おやめください。

水ぬれについて

近くに花瓶、コップなどを置かないでください

水ぬれ禁止

火災・感電の原因になります。

異物について

内部に金属類・燃えやすいものなどの異物を入れないでください

火災・感電の原因になります。

- 特にお子様にはご注意ください。

雷について

雷が鳴りだしたときは、アンテナ線や本機には触れないでください

接触禁止

感電の原因になります。

警告

ACアダプターについて

破損するようなことはしないでください

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる など)

火災・感電・ショートなどの原因になります。

- 修理は、ケーブルテレビ局にご相談ください。

傷んだACアダプター、ゆるんだコンセントは使用しないでください

火災・感電・ショートなどの原因になります。

- 修理は、ケーブルテレビ局にご相談ください。

ACアダプターは根元まで確実に差し込んでください

差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因になります。

交流 100 V以外で使用しないでください

コンセント・配線器具の定格を超えて使わないでください

たこ足配線などをしないでください

発熱による火災の原因になります。

ACアダプターのほこりなどは定期的に取り除いてください

ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。

- ACアダプターを抜き、乾いた布でふいてください。

ぬれた手で、ACアダプターの抜き差しをしないでください

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

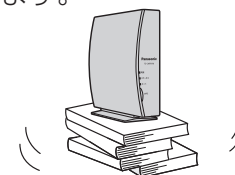
ACアダプターは本機に付属のもの以外は使用しないでください

火災や感電の原因になります。

設置について

不安定な場所に置かないでください

倒れたり、落ちたりしてけがの原因になります。



分解禁止について

カバーを外したり、本機を改造しないでください

分解禁止

火災・感電の原因になります。

- 内部の点検・調整・修理はケーブルテレビ局にご相談ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

無線機能について

- 本機を医療機関や医療機器のある場所には設置しないでください
本機からの電波が医療機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。
- 自動ドア、火災報知機等の自動制御機器の近くで使用しないでください
本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

- 本機は心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離してください
本機からの電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

注意

本機の取り扱いについて

- 乗らないでください
倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。
- 上に物を置かないでください
落下してけがの原因になることがあります。
- 接続ケーブルを無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったりしないでください
火災・感電の原因になることがあります。
- 接続ケーブルを壁面に挟んだり、足をひっかけたりしないように処理を行ってください
火災・感電・けがの原因になることがあります。

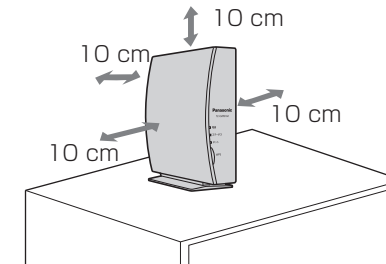
ACアダプターについて

- 長期間使用しないときはコンセントから抜いてください
ACアダプターにほこりがたまり火災・感電の原因になることがあります。
- ACアダプターを持って抜いてください
コードを引っぱると破損し、火災・感電・ショートの原因になることがあります。

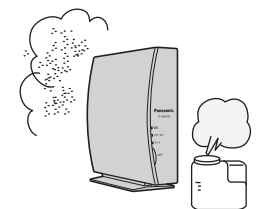
注意

設置について

- 通風孔をふさがないでください
- 風通しの悪い狭い所で使用しないでください
- あお向けや、横倒し、逆さまにして使用しないでください
内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
●上側が10cm以上、左右が10cm以上、後側が10cm以上の間隔をあけて据えつけてください。



- 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所（調理台や加湿器のそばなど）に置かないでください
火災・感電の原因になることがあります。



移動について

- 移動させる前に接続線などをはずしてください
(ACアダプター、アンテナ線、機器間の接続線)
ACアダプターや本機が損傷し、火災・感電の原因になることがあります。

お手入れについて

- お手入れの前に、安全のためACアダプターをコンセントから抜いてください
感電の原因になることがあります。



使用上のご注意

本機は放送内容、ご使用環境、接続されている機器との組み合わせや、外部からの雑音などの影響により操作ができなくなるなど、まれに正常に動作しないことがあります。

この場合は、ACアダプターを一度抜き、しばらくした後、再度ACアダプターを差し込み、動作を確認してください。

本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください。

本機の受信周波数帯域(90 MHz～1 GHz)に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やケーブルテレビ宅内線の途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。

他の電波を使う機器からは離してください。

電波の干渉による悪影響を防止するため、次の機器からできるだけ離してください。

- ・電子レンジ ・他の無線LAN機器 ・Bluetooth® 対応機器
- ・その他2.4 GHz、5 GHzの電波を使用する機器
(デジタルコードレス電話、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機、パソコン周辺機器など)

本機の通風孔をふさがないようにしてください。

本機は放熱のため、本体の一部で温度が高くなる場合があります。品質、性能には異常ありませんが、内部温度の上昇をおさえるため通風孔をふさがないようにして、風通しのよい所に設置してください。

他の機器の上に本機を置かないでください。

他の機器の放熱によって本機の内部温度が上がり、故障の原因となることがあります。

視聴記録の送信について

ICカードに記録されている視聴記録データは、定期的に自動送信されます。

本機は性能向上のためダウンロードを行う場合があります。ダウンロードを実行するには、ACアダプターを接続したままにしておいてください。

ACアダプターをはずすと、ダウンロードが実行されません。

長時間動かない画像を映さないでください。

iPhoneなどのiOS機器の画面に動かない画像を長時間映していると、画面に映像が焼き付き、影のように画面に残る恐れがあります。動かない画像を長時間映さないでください。

録画内容の補償に関する免責事項について

何らかの不具合により、正常に録画ができなかった場合の内容の補償、録画した内容(データ)の損失、および直接・間接の損害に対して、当社およびご加入のケーブルテレビ局は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合においても同様です。あらかじめご了承ください。

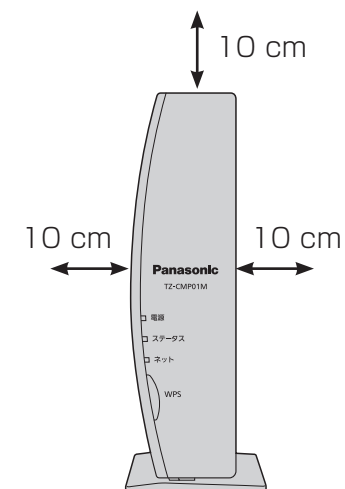
- 本機に組み込まれているソフトウェアの解析、変更、改造などを行わないでください。
- あなたが録画機器などで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- 本機はARIB(電波産業会)規格および日本ケーブルラボ仕様に基づいた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 国外でこの製品を使用して有料放送サービスを楽しむことは、有料サービス契約上禁止されています。
- B-CASカードおよびC-CASカードは地上・BS・CSデジタル放送、日本ケーブルラボ標準デジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与された大切なカードです。お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。

設置について

本機は、縦置きでご使用ください。

過熱を避けるために、通気口のある本機側面および上面は10 cm以上の間隔を空けてください。

また間隔を空けた場合でも、本機全体を覆うような形での設置はおやめください。



お知らせ

- 無線LAN使用上のご注意について(☎ 77ページ)

確認

●使用上のご注意

各部のはたらき

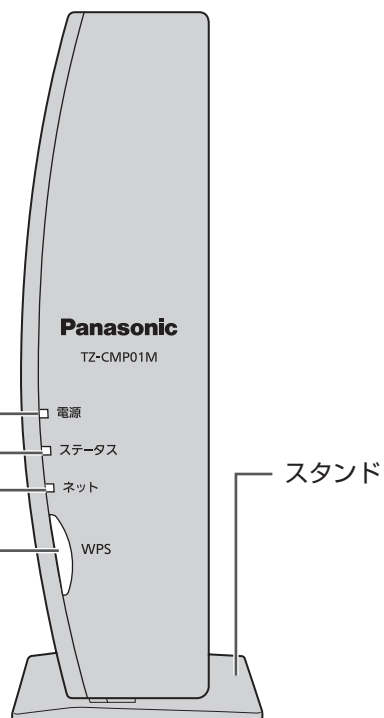
前面

電源表示ランプ
(☞ 11ページ)

ステータスランプ
(☞ 11ページ)

ネットランプ
(☞ 11ページ)

WPSボタン
無線LAN簡単設定を行う
(☞ 17ページ)



背面

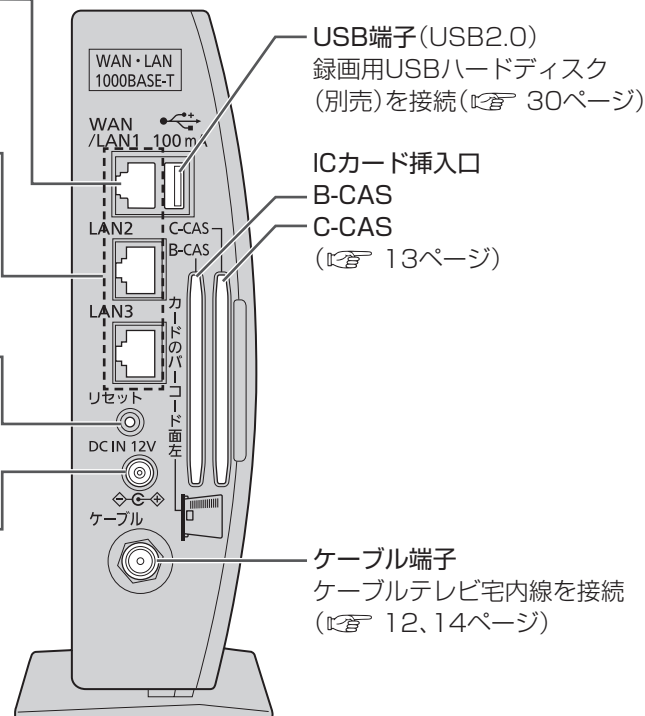
WAN端子(WAN)
通信端末(光回線終端装置など)を接続
(☞ 14ページ)

LAN端子(LAN1/LAN2/LAN3)
パソコンなどのネットワーク機器を接続
(LAN1はWAN端子と共用)
(☞ 14, 26ページ)

リセットボタン
ルーターの設定を初期化する場合に
5秒以上押す

電源入力端子(DC IN 12V)
(☞ 15ページ)

ACアダプターは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器のACアダプターを本機に使用しないでください。



表示ランプについて

電源表示ランプ
本機の電源の状態を表示します。

ランプ	状態
消灯	電源「切」(ACアダプター未接続)
赤点灯	電源「入」(準備中)
緑点灯	電源「入」
赤点滅	ソフトウェアダウンロード中

ステータスランプ
本機の動作状態を表示します。

ランプ	状態	
	動作モード1	動作モード2~4
消灯	放送を転送していないとき	
緑点灯	ケーブルモデム正常状態	本機のIPアドレス設定完了
緑点滅	ケーブルモデム準備中	—
緑点滅(早)	ご契約の確認中です。しばらくお待ちください	
橙点灯	放送を転送中／録画再生中／録画番組のダビング(ムーブ/コピー)中	
赤点灯	USBハードディスク録画中	
赤点滅	ソフトウェアダウンロード中	
赤点滅(早)	ご契約条件によりご覧いただけません。ご加入のケーブルテレビ局へご連絡ください。 エラー表示	

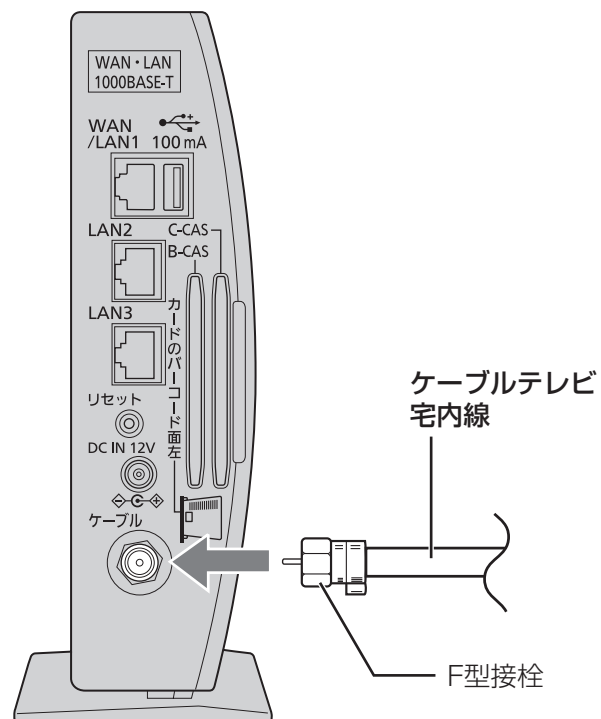
ネットランプ
本機のネットワークの状態を表示します。

ランプ	状態
消灯	ネットワーク接続なし
緑点灯	ネットワーク接続中
橙点灯	無線LAN有効(ネットワーク接続なし)
橙点灯(15秒間)	WPSセットアップ完了
橙点滅	WPSセットアップ中
橙点滅(早)	WPS動作エラー
赤点滅(早)	エラー表示

ランプの点滅間隔について

点滅	
点滅(早)	

ケーブルテレビ宅内線の接続



お願い

- ケーブル端子にF型接栓を接続するときは、手で緩まない程度に締めつけてください。締めつけ過ぎると本機内部が破損する場合があります。
- ケーブル端子には、ケーブルテレビ宅内線以外のケーブルを接続しないでください。
- ACアダプターは、すべての接続が終わってからコンセントに接続してください。

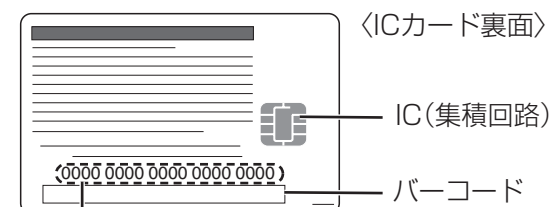
B-CAS / C-CASカードの挿入

BS/地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、2004年4月からコピー回数を限定したコピー制御信号を加えて放送されています。

その信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。

■ICカードについて

- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容によりB-CASカードのみの場合があります。

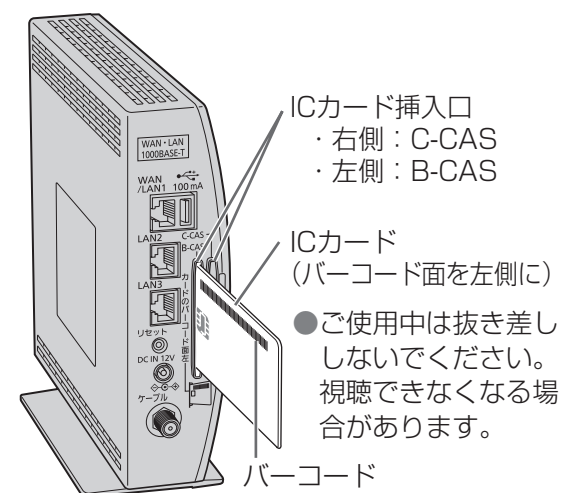


カードID

- 有料番組の契約内容などを管理するための大切な番号です。問い合わせの際にも必要です。裏表紙の「便利メモ」に記入しておいてください。

1 ACアダプターがコンセントに差し込まれていないことを確認する (ACアダプターを抜いた状態)

2 ICカードを挿入する



■ICカードのテストをするとき
(☞ 64ページ)

■ICカードを抜くとき

- ① ACアダプターをコンセントから抜く
 - ② ゆっくりとICカードを抜く
- ICカードには、IC(集積回路)が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。
 - ICカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、ICカードテストを行ってください。(☞ 64ページ)

ICカードの抜き差しについては、ご加入のケーブルテレビ局にご相談いただき指示に従って操作してください。

■ICカード取り扱い上の留意点

- 折り曲げたり、変形させない。
- 水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
- 分解加工は行わない。
- 重いものを置いたり、踏みつけたりしない。
- IC(集積回路)部には手をふれない。

お願い

- 本機専用のICカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違えるとICカードは機能しません。

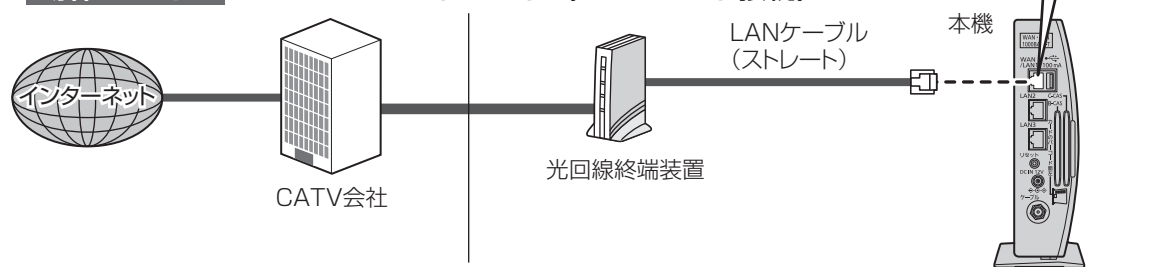
ネットワーク機器との接続

●インターネットへの接続方法は、ご契約内容により異なります。詳しくはご加入のケーブルテレビ局か、ご加入のプロバイダーにお問い合わせください。

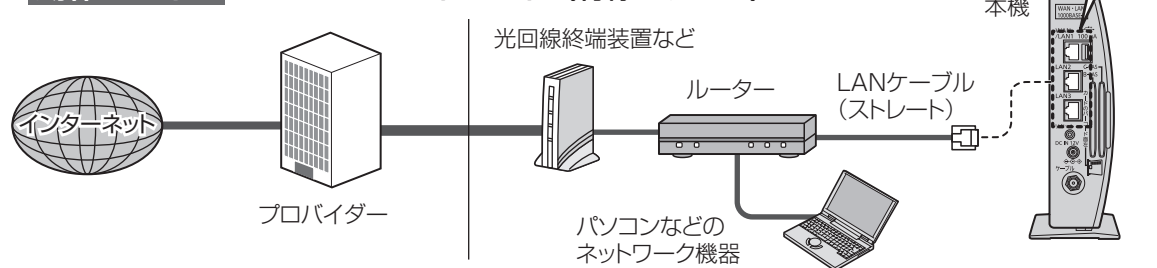
CATV経由でインターネットに接続しているとき 動作モード1 アクセスポイントモード（ケーブルモデム接続） （お買い上げ時の設定）



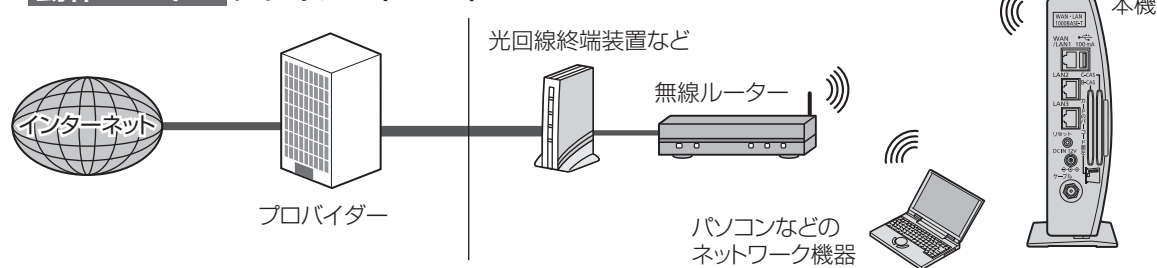
光ファイバー（FTTH）でインターネットに接続しているとき 動作モード2 アクセスポイントモード（WANポート接続）



家庭用のネットワークを通じてインターネットに接続するとき 動作モード3 アクセスポイントモード（有線ブリッジ）



家庭用のネットワークを通じて無線でインターネットに接続するとき 動作モード4 クライアントモード



■接続後は、必ずネットワーク関連設定（☞ 43～62ページ）を行ってください。

■無線LANでの設定、接続について（☞ 16～25ページ）

■有線LANでの設定、接続について（☞ 26～29ページ）

お願い

- LANケーブルは「カテゴリ5」以上のケーブルをご使用ください。
- 電話用のモジュラーケーブルを、LAN端子やWAN端子に接続しないでください。故障の原因になります。
- ACアダプターは、すべての接続が終わってからコンセントに接続してください。
- 本機は、同一ネットワーク上に2台以上設置して使用することはできません。2台以上設置した場合、ネットワーク接続ができなくなるなどの不具合が発生することがあります。

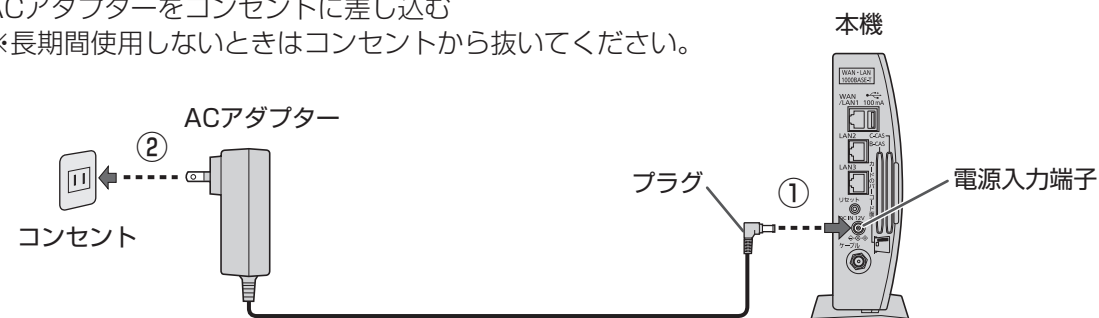
お知らせ

- 本機では通信端末（光回線終端装置など）の設定はできません。パソコンなどでの設定が必要な場合があります。
- ルーター機能を有効にしている機器が接続されていると、正常に動作しなくなることがあります。機器の取扱説明書をよくお読みの上、適切な設定をしてください。
- 本機に接続したDHCP*1でのIPアドレス自動取得が使えるブロードバンドルーターの電源を一度切ると、各機器に割り当てられるIPアドレスが停止して、電源を再び入れても、各機器間の通信ができなくなることがあります。本機をご使用中は、ブロードバンドルーターの電源を切らないでください。

*1 サーバーやブロードバンドルーターなどが、IPアドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みです。

ACアダプターを接続する

- ①本機背面の電源入力端子にACアダプターのプラグを接続する
- ②ACアダプターをコンセントに差し込む
※長期間使用しないときはコンセントから抜いてください。



無線LAN接続例(スマートフォン)

- 本機は無線LANを内蔵しています。本機に無線LAN機器を接続(本機の動作モード1~3:「アクセスポイント」)したり、別の無線LANネットワークに接続(本機の動作モード4:「クライアント」)することができます。
- 本機は2.4 GHzと5 GHzの通信周波数帯を併用しています。本機をアクセスポイントとして使う場合のSSID(ネットワーク名)と通信周波数帯の関係は、下記の表のようになります。
- 無線LAN機器を本機に接続したいときは、「WPS接続」(P.17ページ)の手順に従って設定してください。WPS機能に対応していない機器の場合は、18ページまたは23~25ページの手順に従って設定してください。詳しい設定については「無線LAN」(P.49ページ)を参照ください。

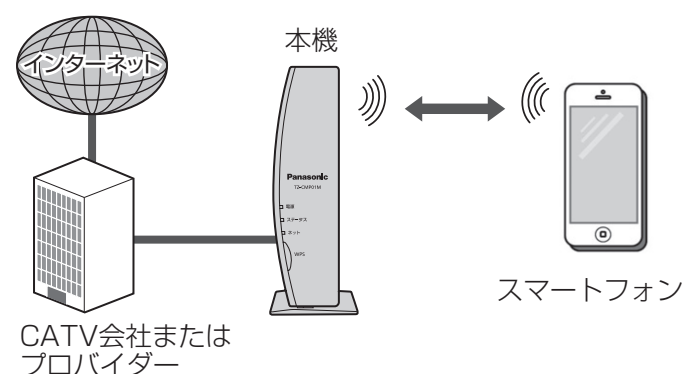
SSID名(初期値)	通信周波数帯	主な接続機器(無線LAN機器)
SSID1(CMP01_2p_xxxx)*	2.4 GHz	パソコン、スマートフォンなどのモバイル機器
SSID2(CMP01_5p_xxxx)*	5 GHz	パソコン、スマートフォンなどのモバイル機器
SSID3(CMP01_2s_xxxx)*	2.4 GHz	暗号化方式がWEPしか対応していないゲーム機など

- * xxxx部分は製品によって異なります。
- * 無線LAN接続するときのパスコードは製品によって異なります。初期値は本機側面の貼付シールや51ページの「パスコード」画面で確認できます。
- * **SSID3をお使いの際は「セカンダリ無線LAN」を有効に設定してください。(P.54ページ)ただし、SSID3ではケーブルテレビの放送転送はできません。**

- ご契約内容により、接続方法や設定の内容が固定されていることがあります。接続の際は、接続する機器の取扱説明書もよくお読みの上、ご不明な点は、ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

スマートフォンとの接続

スマートフォンを本機に無線LANで接続する場合



本機の動作モードを「アクセスポイント」(モード1~3)に設定してください。(P.45ページ)

スマートフォンを、本機に接続します。

- 本機の動作モードを「クライアント」(モード4)に設定しているときは、本機にスマートフォンを接続できません。

- 動作モードの設定(アクセスポイント、クライアント)に合わせて、セキュリティなどの設定(P.49~54ページ)を行ってください。

無線LANについて

- 本機をアクセスポイントとして使用する場合は、無線方式は、SSID2(通信周波数帯5 GHz)、SSIDの動作モード11nを推奨します。(本機の場合は802.11a/nに設定してください。)他のSSIDやSSIDの動作モードでも通信できますが、大容量のデータを送受信する(放送転送やインターネットで動画を見るなど)と、映像が途切れたり、接続が切れることがあります。
- 本機は良好な電波状態が確保できる場所に設置してください。無線LANの受信強度や回線速度が不足している環境の場合、放送転送に失敗することがあります。

WPS※1接続

本機の「WPS」ボタンを使って、かんたんに無線LAN機器を接続することができます。

- 接続の前に、無線LANの設定をご確認ください。(P.49~52ページ)

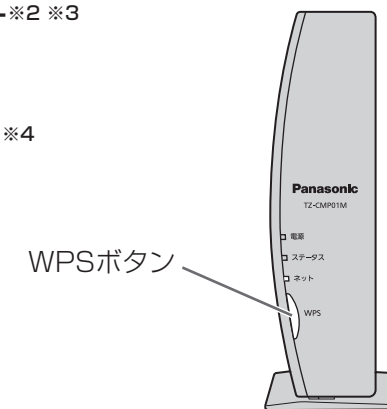
1 無線LAN機器のWPSボタンを押す※2 ※3

2 本機の「WPS」ボタンを数秒間押す※4

- ボタンを押すと、本機前面のネットランプが橙色点滅します。

3 設定完了を確認する

- 設定が終了すると、本機前面のネットランプが橙色点滅から元の状態に戻ります。



- ※1 「WPS」は「Wi-Fi Protected Setup™」の略です。
- ※2 接続機器のWPSボタンについては、接続機器の取扱説明書をご覧ください。(機器によっては、ソフトウェア上にボタンがある場合があります。)
- ※3 プッシュボタン方式に対応していない機器は、PINコードを入力することで接続できます。本機に接続機器のPINコードを入力してください。(P.52~53ページ)接続機器の取扱説明書も併せてご覧ください。
- ※4 本機の設定画面からの操作でもWPSの登録モードに切り換えることができます。(P.52~53ページ)

お知らせ

- WPSボタンでの接続の対象となるSSIDは、「SSID1」(2.4 GHz)と「SSID2」(5 GHz)です。接続機器の通信周波数帯によって、接続されるSSIDが決まります。
- 暗号化方式の設定(P.51ページ)によりWPS機能が使用できない場合があります。
- 本機に接続する機器がWPSに対応していない場合は、設定の際に本機のパスコード(暗号キー)(P.51ページ)が必要になります。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。

- 通信内容の傍受、不正利用、なりすましなどを防止するために、適切なセキュリティ設定(暗号化方式の設定)を行ってください(P.49~54ページ)。セキュリティ対策を施さず、あるいは無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社ではこれによって生じた損害に対する責任を負いかねます。
- 本機(アクセスポイント)の無線方式を変更した場合は、これまで無線LANで接続できていた機器(スマートフォンやパソコンなど)が接続できなくなることがあります。

無線 LAN 接続例 (スマートフォン)

無線LANの接続方法について(スマートフォン)

iOS機器の場合

- 1 ホーム画面から [設定] をタップする
- 2 [Wi-Fi] をタップし、ワイヤレスネットワークの覧から、本機のSSID(CMP01_xx_xxxx)をタップする



- 3 パスコードを入力し、[Join] または [接続] をタップする

●パスコードの初期値は、本機側面の貼付シールに記載しています。



●SSIDの前にチェックマークが表示されていれば接続完了です。



Androidの場合

- 1 ホーム画面から [設定] をタップする
- 2 「ワイヤレスとネットワーク」の [Wi-Fi] をタップし、ワイヤレスネットワークの一覧から、本機のSSID(CMP01_xx_xxxx)をタップする



- 3 パスコードを入力し、[接続] をタップする

●パスコードの初期値は、本機側面の貼付シールに記載しています。



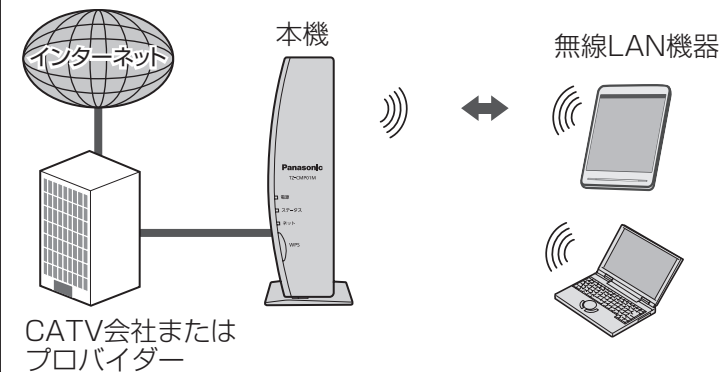
●Wi-Fi欄の本機のSSIDに「接続されました」と表示されていれば接続完了です。



無線LAN接続例(PCなど)

PCなどとの接続

無線LAN機器(PCなど)を本機に無線LANで接続する場合

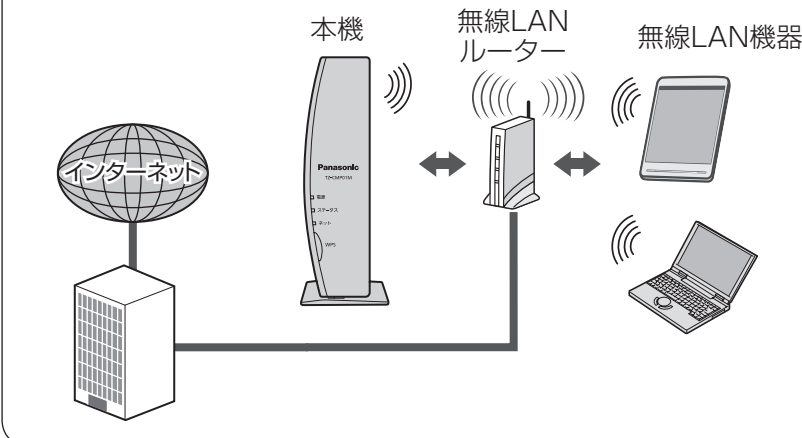


●本機の動作モードを「クライアント」(モード4)に設定しているときは、本機に無線LAN機器を接続できません。

本機の動作モードを「アクセスポイント」(モード1~3)に設定してください。
([P.45](#) ページ)

無線LAN機器を、本機に接続します。

本機を無線LAN対応のルーターに無線LANで接続する場合



●本機を別の無線LANネットワークに接続します。

本機の動作モードを「クライアント」(モード4)に設定してください。
([P.45](#) ページ)

無線LAN機器は、本機には接続できません。
無線LAN対応のルーターに接続してください。

接続・設定

無線LAN接続例(PCなど)
無線LAN接続例(スマートフォン)

無線 LAN 接続例 (PC など)

無線LANで接続するための準備 (ネットワーク設定)

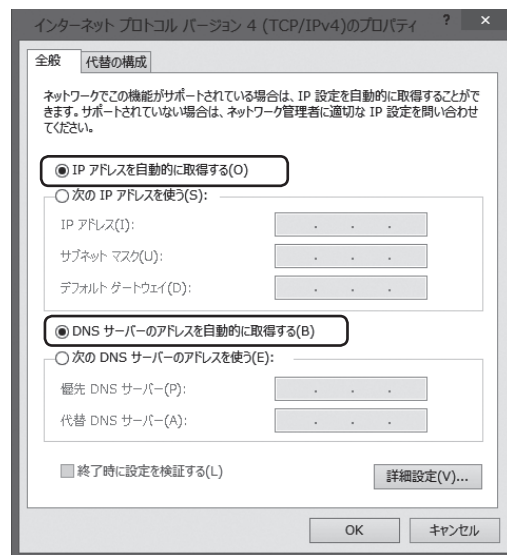
初めて本機に無線で接続するときは、ご使用のパソコンがDHCPサーバのクライアントになるよう、ネットワーク設定を行う必要があります。すでにIPアドレスを自動で取得する設定にしている場合は、ネットワーク設定を行う必要はありません。

お願い

- ご使用のパソコンが無線規格IEEE802.11a/b/g/nに対応していることをご確認ください。また、無線LAN機能が有効になっているかご確認ください。
- ネットワークの設定を行うには、管理者または同等の権限を持つユーザーでログオンする必要があります。

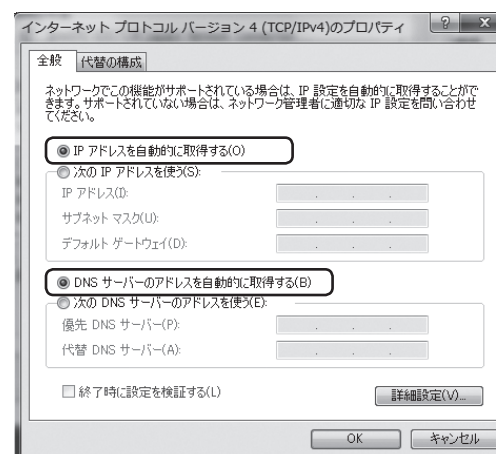
Windows 8 の場合

- 1 画面のタイトル以外を選び、右クリックする
- 2 画面の右下隅の[すべてのアプリ]をクリックする
- 3 [コントロールパネル]をクリックする
- 4 [ネットワークとインターネット] → [ネットワークと共有センター] をクリックする
- 5 左上隅の「アダプターの設定の変更」をクリックする
- 6 ネットワーク接続の「Wi-Fi」を右クリックし、[プロパティ]をクリックする
- 7 「ネットワーク」タブで[インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)]を選び、[プロパティ]をクリックする
- 8 「IPアドレスを自動的に取得する」および「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」にチェックを付ける
- 9 [OK]をクリックしてプロパティ画面を閉じる



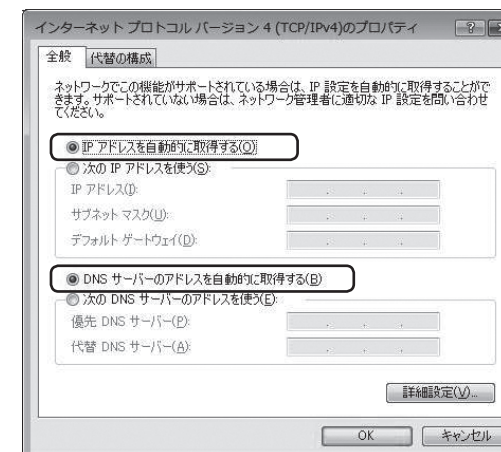
Windows 7 の場合

- 1 [スタート] → [コントロールパネル] をクリックする
- 2 [ネットワークとインターネット] → [ネットワークと共有センター] をクリックする
- 3 [ワイヤレスネットワーク接続] をクリックする
- 4 [プロパティ] をクリックする
- 5 「ネットワーク」タブで[インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)]を選び、[プロパティ]をクリックする
- 6 「IPアドレスを自動的に取得する」および「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」にチェックを付ける
- 7 [OK] をクリックしてプロパティ画面を閉じる



Windows Vista の場合

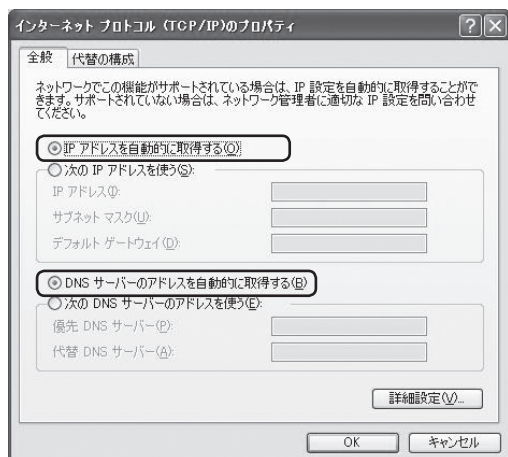
- 1 [スタート] → [コントロールパネル] をクリックする
- 2 [ネットワークと共有センター] をクリックする
- 3 [ネットワーク接続の管理] をクリックする
- 4 [ワイヤレスネットワーク接続] を右クリックし、[プロパティ] → [続行] をクリックする
- 5 [インターネット プロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)] を選び、[プロパティ] をクリックする
- 6 「全般」タブをクリックし、「IPアドレスを自動的に取得する」および「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」にチェックを付ける
- 7 [OK] をクリックしてプロパティ画面を閉じる



無線 LAN 接続例 (PC など)

Windows XP の場合

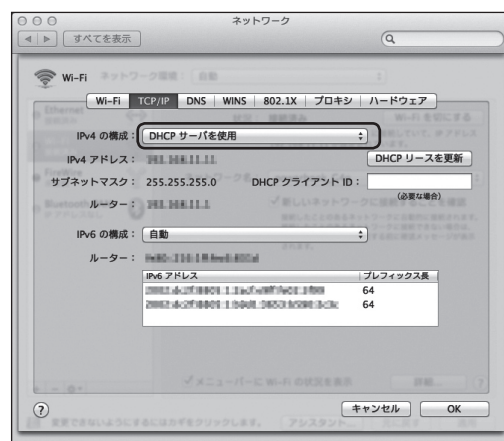
- 1 [スタート]→[コントロールパネル]をクリックする
- 2 [ネットワーク接続]をクリックする
- 3 [ワイヤレスネットワーク接続]を右クリックし、[プロパティ]をクリックする
- 4 「全般」タブで「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選び、[プロパティ]をクリックする



- 6 [OK]をクリックしてプロパティ画面を閉じる

Mac OSX 10.8 の場合

- 1 アップルメニューから[システム環境設定]を選び、[ネットワーク]をクリックする
- 2 [Wi-Fi]を選び、[詳細...]をクリックする
- 3 [TCP/IP]タブをクリックする
- 4 「DHCPサーバを使用」を選ぶ



- 5 [OK]をクリックして画面を閉じる

接続方法について(PCなど)

Windows 8 の場合

- 1 スタート画面の右端から内側にスワイプし、[設定]をタップする
 - マウスを使用している場合は、画面の右隅をポイントし、[設定]をクリックします。



- 2 ネットワークアイコンをタップ(クリック)する

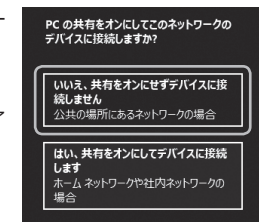


- 3 表示されたワイヤレスネットワークの一覧から、接続する本機のSSID(CMP01_xx_xxxx)を選び、[接続]をタップ(クリック)する



- 4 本機の「WPS」ボタンを数秒間押す
 - ボタンを押すと、本機前面のネットランプが橙色点滅します。

- 5 PCの共有設定で「はい、共有をオンにしてデバイスに接続します」をタップ(クリック)する
 - 本機のネットワークSSIDに、「接続済み」と表示されていれば接続完了です。



Windows 7 の場合

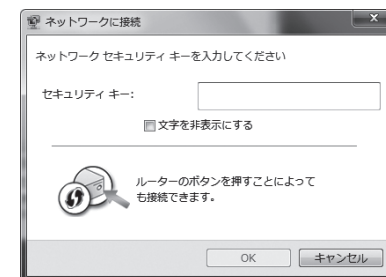
- 1 画面右下のタスクトレイのネットワークアイコンをクリックする



- 2 表示されたワイヤレスネットワークの一覧から、接続する本機のSSID(CMP01_xx_xxxx)を選び、[接続]をクリックする



- 3 本機の「WPS」ボタンを数秒間押す
 - ボタンを押すと、本機前面のネットランプが橙色点滅します。



- 4 タスクトレイのネットワークアイコンをクリックする
 - 本機のネットワークSSIDに、「接続」と表示されていれば接続完了です。




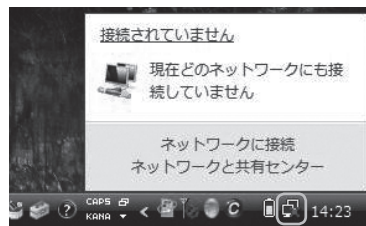
接続・設定

●無線LAN接続例(PCなど)

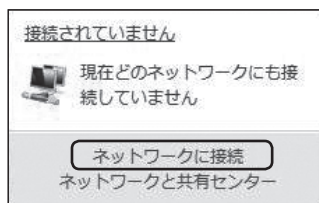
無線 LAN 接続例 (PC など)

Windows Vista の場合

- 1 画面右下のタスクトレイのネットワークアイコン  をクリックする



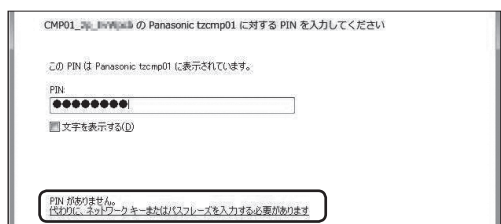
- 2 [ネットワークに接続] をクリックする



- 3 表示されたワイヤレスネットワークの一覧から、接続する本機の SSID(CMP01_xx_xxxx) を選び、[接続] をクリックする

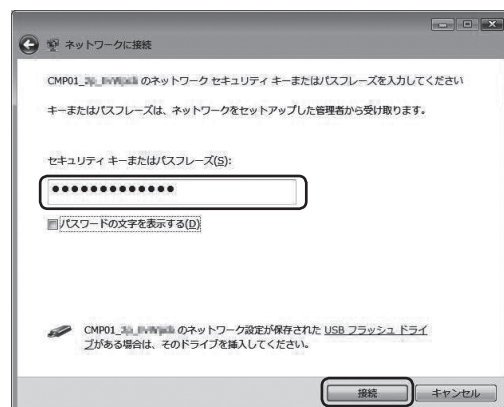


- 4 [代わりに、ネットワークキーまたはパスフレーズを入力する必要があります] をクリックする

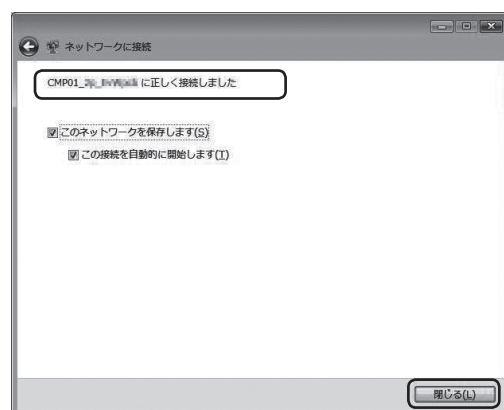


- 5 本機のパスコードを入力し、[接続] をクリックする

●パスコードの初期値は、本機側面の貼付シールに記載しています。



- 6 「正しく接続しました」と表示されていることを確認し、[閉じる] をクリックする



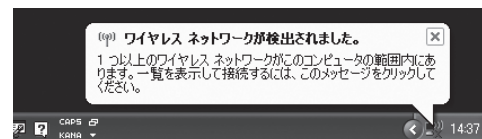
- 7 タスクトレイのネットワークアイコンをクリックする

●本機のネットワークSSIDに、本機のSSIDが表示されていれば接続完了です。

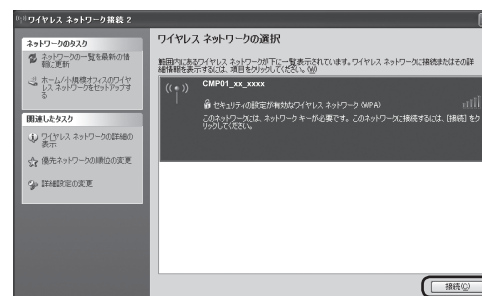


Windows XP の場合

- 1 画面右下のタスクトレイのネットワークアイコン  をクリックする

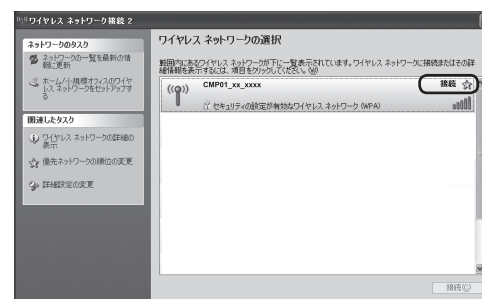
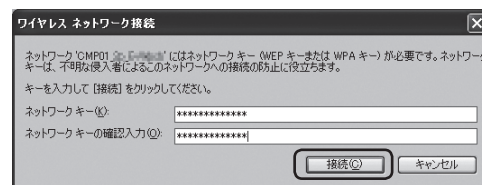


- 2 表示されたワイヤレスネットワークの一覧から、接続する本機の SSID(CMP01_xx_xxxx) を選び、[接続] をクリックする



- 3 本機のパスコードを入力し、[接続] をクリックする

●パスコードの初期値は、本機側面の貼付シールに記載しています。



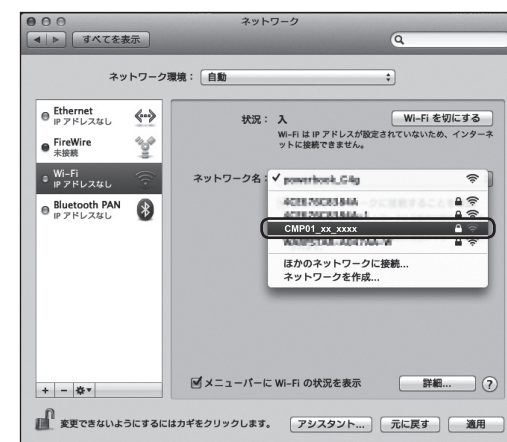
●本機のネットワークSSIDに、「接続」と表示されていれば接続完了です。

Mac OSX 10.8 の場合

- 1 アップルメニューから[システム環境設定]を選び、[ネットワーク] をクリックする

- 2 ネットワーク画面から [Wi-Fi] を選ぶ

- 3 「ネットワーク名」から本機のネットワーク名(CMP01_xx_xxxx) を選ぶ



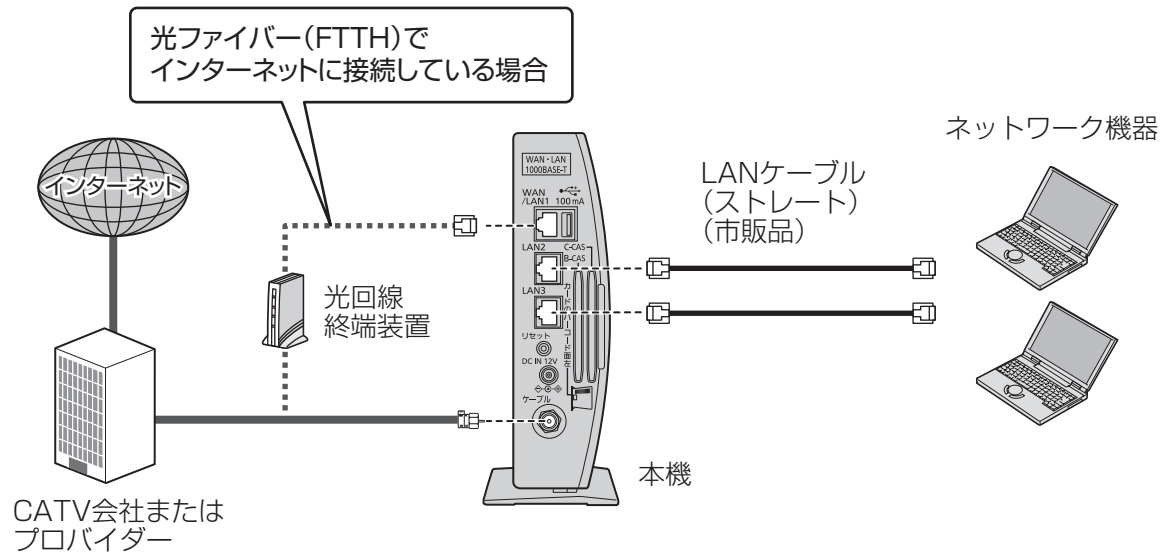
- 4 本機のパスコードを入力し、[OK] をクリックする

●パスコードの初期値は、本機側面の貼付シールに記載しています。

- 5 [適用] をクリックする

有線LAN接続例(PCなど)

PCなどとの接続



お願い

- LANケーブルは「カテゴリ5」以上のケーブルをご使用ください。
- 電話用のモジュラーケーブルを、LAN端子やWAN端子に接続しないでください。故障の原因になります。

有線LANで接続するための準備 (ネットワーク設定)

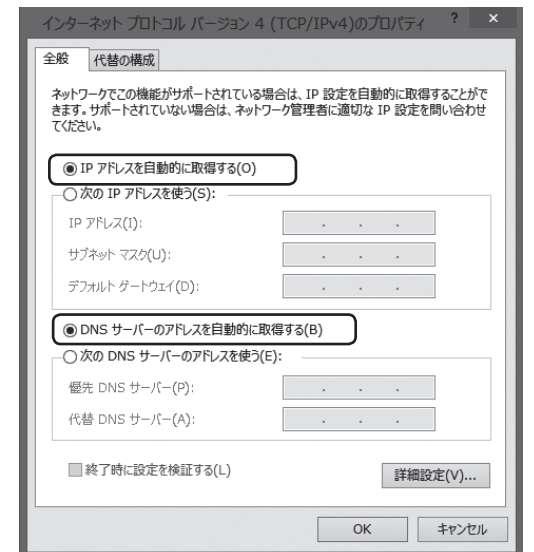
初めて本機に接続するときは、ご使用のパソコンがDHCPサーバのクライアントになるよう、ネットワーク設定を行う必要があります。すでにIPアドレスを自動で取得する設定にしている場合は、ネットワーク設定を行う必要はありません。

お願い

- ネットワークの設定を行うには、管理者または同等の権限を持つユーザーでログオンする必要があります。

Windows 8 の場合

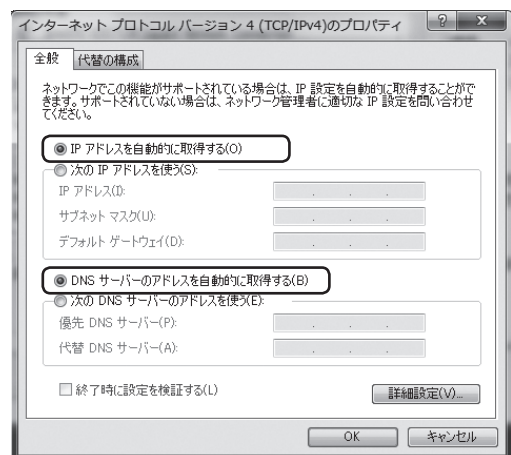
- 1 画面のタイトル以外を選び、右クリックする
- 2 画面の右下隅の[すべてのアプリ]をクリックする
- 3 [コントロールパネル]をクリックする
- 4 [ネットワークとインターネット] → [ネットワークと共有センター] をクリックする
- 5 左上隅の「アダプターの設定の変更」をクリックする
- 6 ネットワーク接続の「ローカルエリア接続」を右クリックし、[プロパティ]をクリックする
- 7 「ネットワーク」タブで[インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)]を選び、[プロパティ]をクリックする
- 8 「IPアドレスを自動的に取得する」および「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」にチェックを付ける
- 9 [OK]をクリックしてプロパティ画面を閉じる



有線 LAN 接続例 (PC など)

Windows 7 の場合

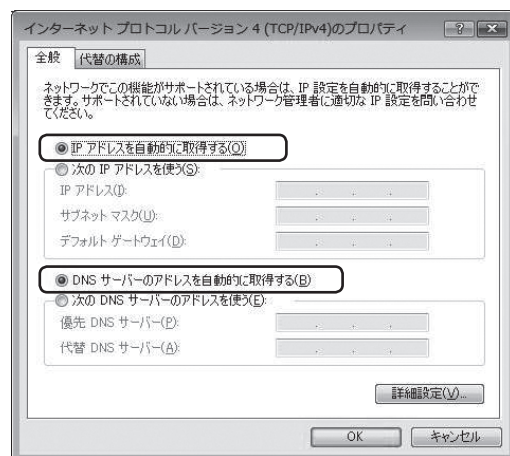
- 1 [スタート]→[コントロールパネル]をクリックする
- 2 [ネットワークとインターネット]→[ネットワークと共有センター]をクリックする
- 3 [ローカルエリア接続]をクリックする
- 4 [プロパティ]をクリックする
- 5 「ネットワーク」タブで[インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)]を選び、[プロパティ]をクリックする
- 6 「IPアドレスを自動的に取得する」および「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」にチェックを付ける



- 7 [OK]をクリックしてプロパティ画面を閉じる

Windows Vista の場合

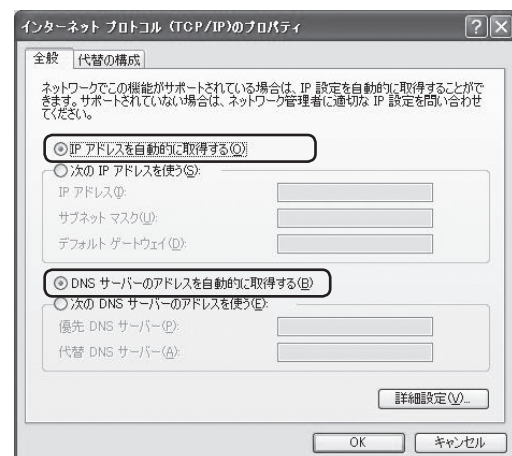
- 1 [スタート]→[コントロールパネル]をクリックする
- 2 [ネットワークと共有センター]をクリックする
- 3 [ネットワーク接続の管理]をクリックする
- 4 [ローカルエリア接続]を右クリックし、[プロパティ]→[続行]をクリックする
- 5 [インターネット プロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)]を選び、[プロパティ]をクリックする
- 6 「全般」タブをクリックし、「IPアドレスを自動的に取得する」および「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」にチェックを付ける



- 7 [OK]をクリックしてプロパティ画面を閉じる

Windows XP の場合

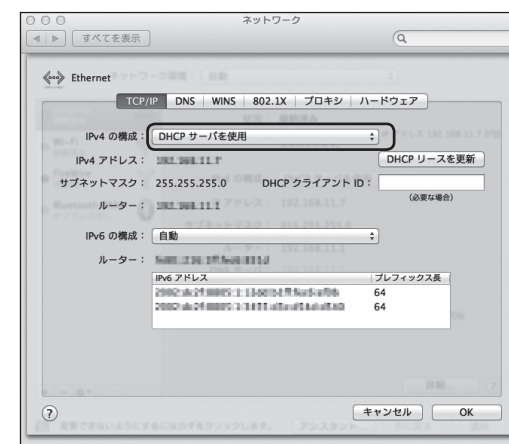
- 1 [スタート]→[コントロールパネル]をクリックする
- 2 [ネットワーク接続]をクリックする
- 3 [ローカルエリア接続]をクリックする
- 4 「全般」タブで[プロパティ]をクリックする
- 5 「全般」タブで[インターネットプロトコル(TCP/IP)]を選び、[プロパティ]をクリックする
- 6 「IPアドレスを自動的に取得する」および「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」にチェックを付ける



- 7 [OK]をクリックしてプロパティ画面を閉じる

Mac OSX 10.8 の場合

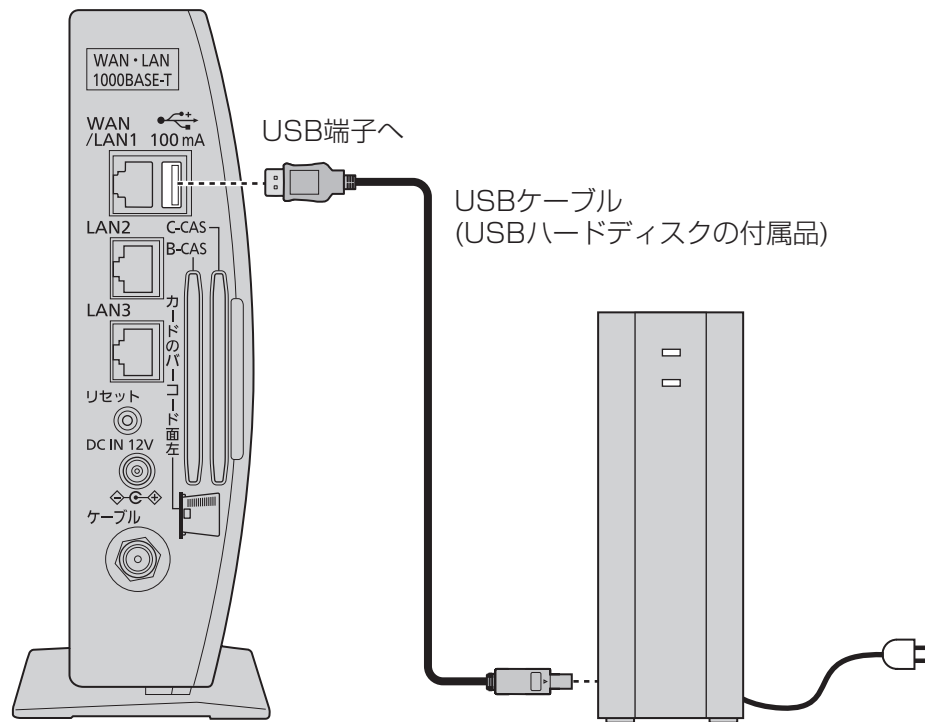
- 1 アップルメニューから[システム環境設定]を選び、[ネットワーク]をクリックする
- 2 [Ethernet]を選び、[詳細...]をクリックする
- 3 [TCP/IP]タブをクリックする
- 4 「DHCPサーバを使用」を選ぶ



- 5 [OK]をクリックして画面を閉じる

USBハードディスクの接続

別売のUSBハードディスクを本機に接続すると、番組の予約録画ができます。



USBハードディスク*

- セルフパワー(電源供給タイプ)のものをお使いください。
- ※動作確認済みの機器をお使いください。

■接続後は、放送システムの設定画面の「USB HDD機器一覧」からUSBハードディスクの登録(☞69ページ)を行ってください。

- 当社で動作確認したUSBハードディスクの最新情報は、下記サポートサイトでご確認ください。
<http://panasonic.biz/broad/catv-support/index.html> (2014年2月現在)

録画内容の補償に関する免責事項について

本機の故障、誤動作、接続機器の不具合あるいは受信障害や停電などの原因により、正常に録画ができなかった場合の内容の補償、録画した内容(データ)の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を交換した場合等においても同様です。あらかじめご了承ください。

お知らせ

<USBハードディスクの動作について>

- 本機に接続できるUSBハードディスクは、1台のみです。
- 録画用として使用できるUSBハードディスクは、容量が500 GBから2.0 TBまでのセルフパワー(電源供給タイプ)で動作する機器のみです。(動作確認済みの機器をご使用ください。)
- 本機に初めて接続するUSBハードディスクは、機器登録が必要です。(☞69ページ)最大8台まで登録できます。
- USBハブを使ってUSBハードディスクを接続しないでください。
- 本機でUSBハードディスクに録画した番組は、本機でしか再生できません。他の録画機器(同じ品番の同型機種を含む)やテレビ、パソコンなどに接続して再生することはできません。他の録画機器でUSBハードディスクに録画した番組は再生できません。

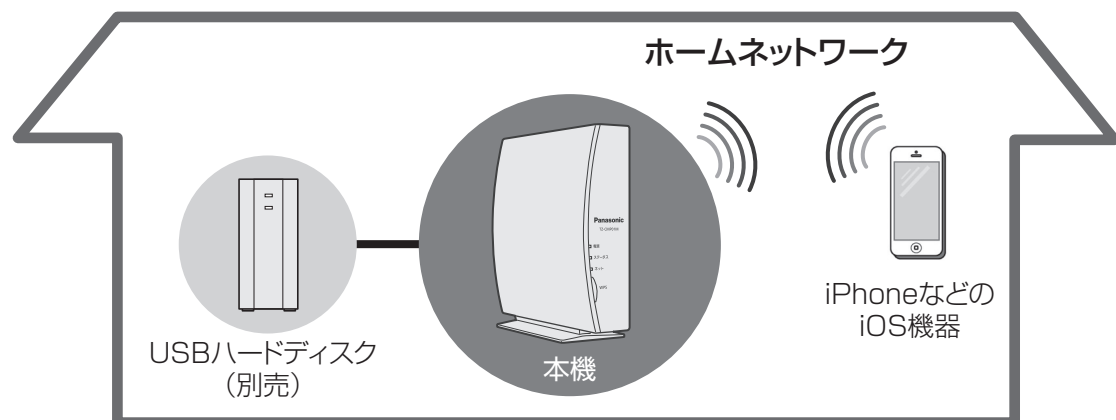
<USBハードディスクのご注意>

- USBハードディスクを本機に接続して録画・再生用として登録すると、本機専用のハードディスクとしてフォーマット(初期化)されます。それまでUSBハードディスク内に録画していたデータはすべて消去されます。(☞69ページ)
- 本機でお使いいただくUSBハードディスクは本機専用として使用してください。本機専用で使用中のUSBハードディスクを、他の機器で使用すると、再フォーマットが必要になり、録画した番組や保存していたデータがすべて消去されます。(☞69ページ)
- 登録を一度解除したUSBハードディスクを録画用として再使用する場合は、もう一度登録・フォーマットが必要です。録画していた番組はすべて消去されます。(☞69ページ)
- USB端子には、本機に対応していない機器を接続しないでください。
- USBハードディスクは、安定した水平な場所に設置し、ケーブルの接続部に無理な力がかからないようにしてください。
- USB端子からUSBハードディスクを外すときは、必ず設定画面の操作で取り外せる状態にしてから行ってください。(☞69ページ)
- 録画中にUSBハードディスクの空き容量がなくなると、録画を停止します。停止する直前までの番組は録画されます。新たに録画する場合は、不要な録画番組を消去し、録画できる時間を確保してから録画してください。
- 録画した番組の数が多い場合、録画一覧画面の表示に時間がかかることがあります。
- USBハードディスクが休止中の場合は、録画・再生の立ち上がり動作に時間がかかります。
- USBハードディスクの動作中は、USBケーブルを抜いたり、本機のACアダプターを外したりしないでください。録画できない、録画した内容が消える、USBハードディスクの不具合などが発生します。USBハードディスクの取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 接続した機器の組み合わせまたは、機器の操作や性能などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

放送を視聴する

DiXiM CATV Player とは

DiXiM CATV Player は、本機をサーバーとして動作するDTCP-IP対応のホームネットワークプレイヤー(DLNAプレイヤー)です。



本機をサーバーとして、ケーブルテレビのデジタル放送をiOS機器で楽しむことができます(放送転送)。また、別売のUSBハードディスク内に録画した番組の再生や、iOS機器へダビング(ムーブ/コピー)して外出先などで再生することもできます。さらに、放送の視聴や録画を再生しながら、アプリケーション内のWebブラウザでWebサイトにアクセスすることもできます。

DiXiM CATV Player の動作には、対応OSをインストールした対応機器が必要です。(2014年2月現在)

詳しくは、DiXiM CATV Player のホームページでご確認ください。

お知らせ

- 対象機種以外では、本アプリは動作しません。
- 同時に2台以上のiOS機器に放送を転送することはできません。
- コンテンツ保護の目的から以下の操作が必要です。
 - ・「写真」へのアクセス許可 ※アプリケーション起動後は、iOSの[設定]から変更も可能です
 - ・「CA証明書のインストール」 ※端末ごとに必要です
- 本アプリは3G/LTE環境では使用できません。必ず無線LAN環境で使用してください。
- 「DiXiM CATV Player」を使用するには「アクティベーション作業」と「CA証明書のインストール作業」が必要です。(P.34ページ)
- 本アプリの画面や仕様は、改良のため予告なく変更されることがあります。

DiXiM CATV Player アプリのダウンロード

iPhone/iPad/iPod touchに視聴用アプリ『DiXiM CATV Player』(無料)をインストールし、Wi-Fiの設定をします。(P.18ページ)

1 ホーム画面から [App Store] をタップする

- App Storeに接続できない場合は、下記「App Storeに接続できない場合」をご参照ください。

2 「DiXiM CATV Player」を検索する



3 画面の指示に従ってアプリをインストールする

App Storeに接続できない場合

以下の手順で設定してください。

①ホーム画面から [設定] をタップする

② [Wi-Fi] をタップする



③ [Wi-Fi] が「オフ」になっている場合は、「オン」にします。

④本機のSSID [CMP01_xx_xxxx] をタップする

- 本機がインターネットに接続されていない場合は、インターネットに接続されているSSIDを選んでください。



⑤本機のパスコード(13桁)を入力し、[Join] または [接続] をタップする

- パスコードの初期値は、本機側面の貼付シールに記載しています。




⑥ホームボタンを押し、ホーム画面から [Safari] をタップする

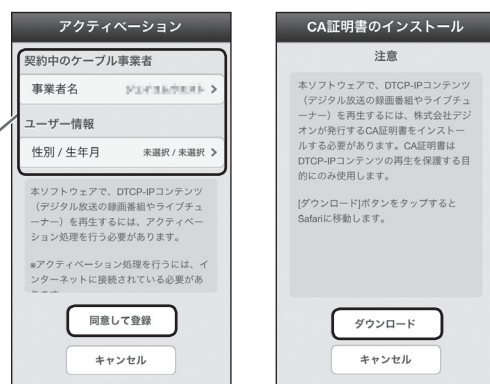
- インターネットに接続できることを確認したら、接続設定は完了です。

放送を視聴する

アクティベーション作業とCA証明書のインストール

DiXiM CATV Player を使用するには、「アクティベーション作業」および「CA証明書のインストール作業」が必要です。

- 1 ホーム画面から  [CATV Player] をタップする
- 2 「アクティベーション」および「CA証明書のインストール」で、注意文を確認の上それぞれ [同意して登録] [ダウンロード] をタップする



契約中のケーブル事業者とユーザー情報(任意)を選びます。

お知らせ

- 3G/LTE環境では使用できません。インターネットに接続された無線LAN環境で使用してください。
- 本機が未接続の場合はアクティベーション設定画面は表示されません。

- 3 [証明書のインストールを開始する] をタップする



- 4 注意文を確認の上、「CA証明書」をインストールし、インストール完了後は [DiXiM CATV Player に戻る] をタップする



お知らせ

- 設定中にパスコードの入力を求められる場合は、iOS機器のロックで使用しているパスコードを入力してください。このパスコードが、各種通信によって送信されることはありません。
- 本アプリを使用するには「写真」へのアクセスをオンにしてください。
 - iOS6以降での設定
ホーム画面から [設定] → [プライバシー] → [写真] で [CATV Player] をオン

現在放送中の番組を見る

本機で受信中の現在放送中の番組をDiXiM CATV Playerで視聴することができます。

- 本機とiOS機器が無線LANで接続されていることをご確認ください。(P.18ページ) また、SSID3での無線LAN接続では、視聴できません。

チャンネルリストから選局する

- 1 メニュー画面で [視聴] をタップする
- 2 [全て] をタップし、チャンネルを選ぶ



上下スワイプで放送局名をスクロールできます。

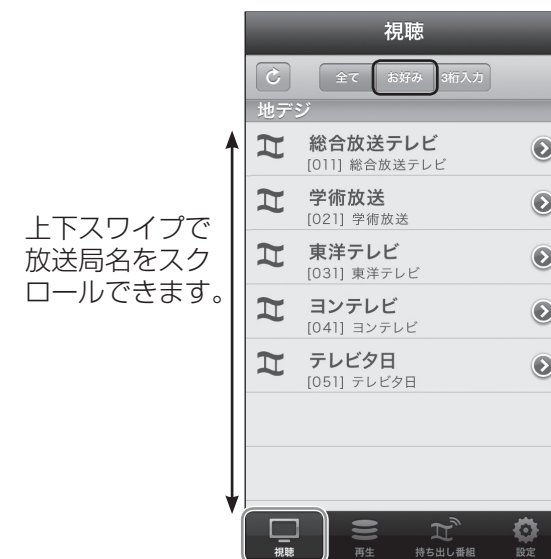
タップすると番組の詳細情報を表示

お知らせ

- 再生されるまで10秒以上時間がかかりますが、不具合ではありません。本機の状態によっては、さらに時間がかかる場合があります。
- 未契約チャンネルはチャンネルリストに表示されないか、表示されても視聴できません。
- 一部の地上デジタル放送やBSデジタル放送はチャンネルリストに表示されません。
- 下記の放送には対応していません。
 - データ放送
 - PPV番組
 - 文字スーパーの送出
 - 番組によっては二重音声番組の音声切替(二重音声と同時に聞こえる場合があります。)
- 予約録画中や他の機器への放送転送、録画番組転送またはダビング中は、放送転送はできません。

お好みリストから選局する

- 1 メニュー画面で [視聴] をタップする
- 2 [お好み] をタップし、チャンネルを選ぶ



上下スワイプで放送局名をスクロールできます。

お知らせ

- 初期状態では「お好み」にはチャンネルリストは登録されていません。本アプリの [設定] → [お好み選局] からお好みのチャンネルを選択してリストを作成してください。
- お好みリストはiOS機器ごとに作成することができます。

視聴・再生

● 放送を視聴する

放送を視聴する

現在放送中の番組を見る(つづき)

3桁入力で選局する

- 1 メニュー画面で[視聴]をタップする
- 2 [3桁入力]をタップし、チャンネル番号の入力欄を選ぶ



- 3 3桁チャンネル番号を入力し[検索]をタップする



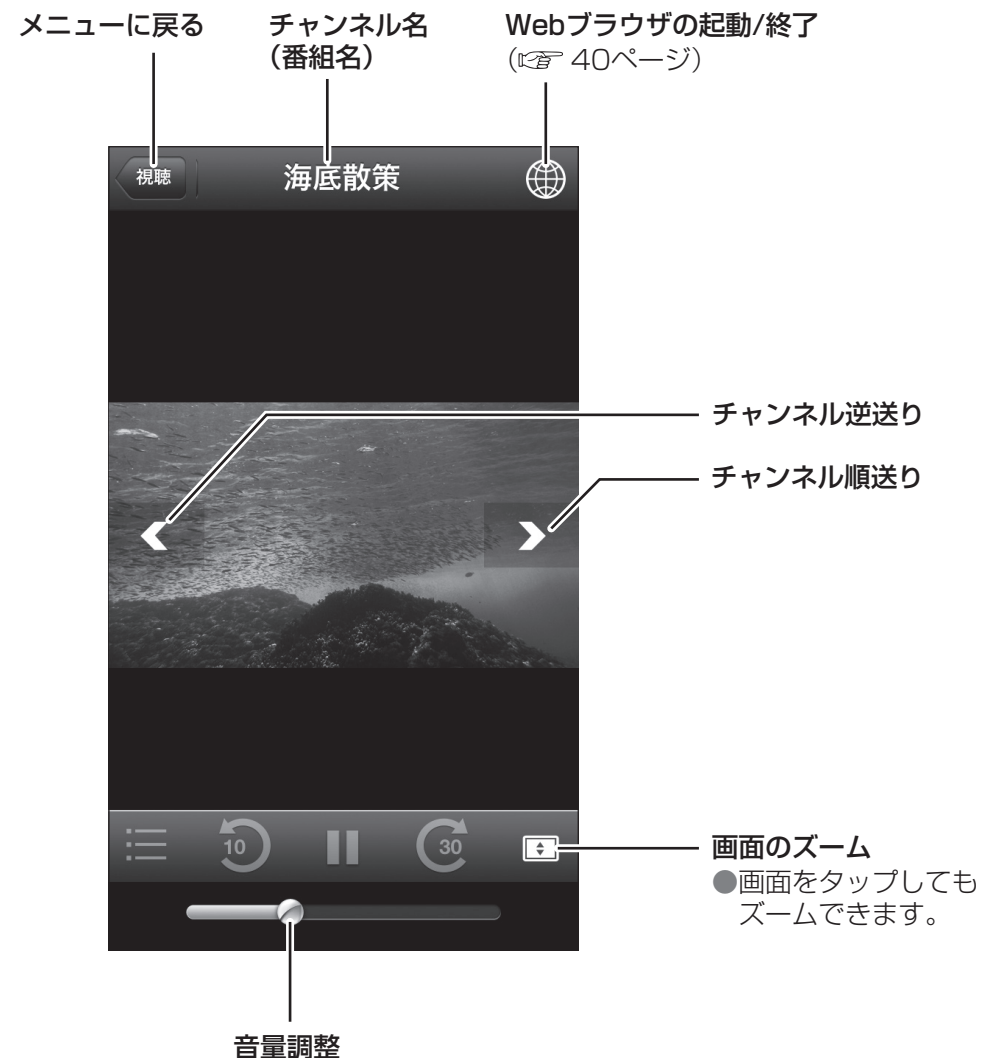
- 4 検索条件に合致するチャンネルを表示し、視聴したいチャンネルを選ぶ



お知らせ

- 3桁入力の検索対象チャンネルは、「全て」のチャンネルリストに表示されているチャンネルです。
- 2桁入力でもチャンネル番号の検索を行うことができます。
例)「10」で検索
→「10*」または「*10」に合致するチャンネルが検索される。
(*は0～9のいずれかの数字)

視聴中画面の操作方法



お知らせ

- iPhone/iPod touch の横向き表示時はブラウザを表示できません。
- 視聴中に予約録画が始まると、放送転送は中断します。
- 画面イメージはiPhone/iPod touch版です。iPad版は一部デザインが異なる場合があります。

視聴・再生

● 放送を視聴する

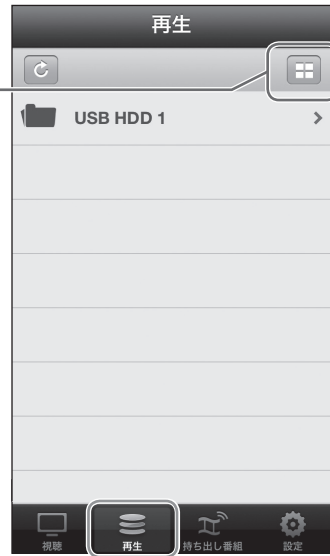
録画番組を再生する

本機に接続しているUSBハードディスク内に録画された番組を、DiXiM CATV Playerで再生することができます。

- 本機とiOS機器が無線LANで接続されていることをご確認ください。(P.18ページ)
また、SSID3での無線LAN接続では、再生できません。

- 1 メニュー画面で[再生]をタップし、再生したい番組が含まれるフォルダ(USBハードディスク名)を選ぶ

リスト表示と
タイル表示を
切り替えます。



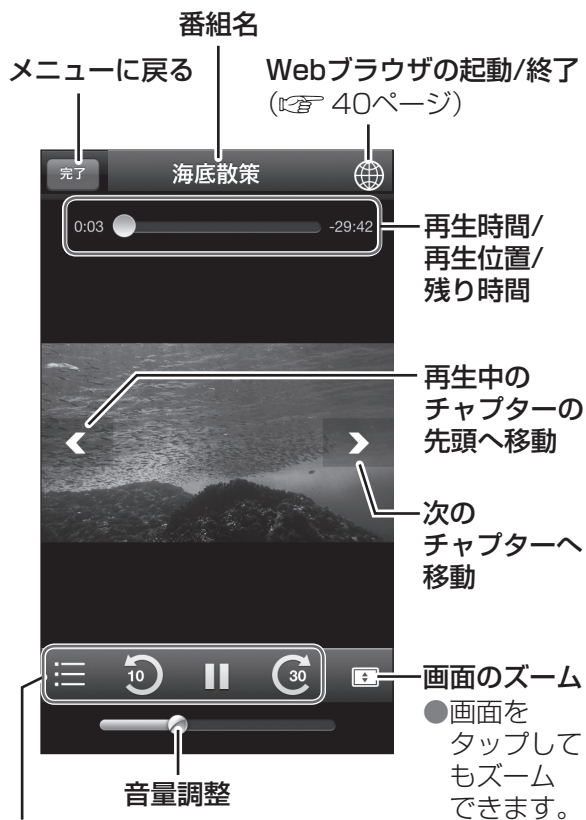
- 2 再生したい録画番組を選ぶ

上下スワイプで
番組名をスク
ロールできます。



タップすると番組の詳細情報を表示
(再生/ダビング/消去の操作ができます)

再生中画面の操作方法



- ☰:チャプター一覧 10:10秒戻る
- ⏸/▶:一時停止/再生
- ⏮:指定した時間進む
- 本アプリの[設定]→[スキップ間隔]で進める時間を設定できます。(P.41ページ)

お知らせ

- iPhone/iPod touchの横向き表示時はブラウザを表示できません。
- 予約録画中でも、録画番組の再生ができます。ただし他の機器への放送転送、録画番組転送またはダビング中は、録画番組は再生できません。

- 画面イメージはiPhone/iPod touch版です。iPad版は一部デザインが異なる場合があります。

録画番組をダビングする

本機に接続しているUSBハードディスク内に録画された番組を、iOS機器にダビング(ムーブ/コピー)して、外出先でDiXiM CATV Playerで再生することができます。

ダビングする

- 本機とiOS機器が無線LANで接続されていることをご確認ください。(P.18ページ)
また、SSID3での無線LAN接続では、ダビングできません。

- 1 メニュー画面で[再生]をタップし、ダビングしたい番組が含まれるフォルダ(USBハードディスク名)を選ぶ



- 2 ダビングしたい録画番組の(詳細情報)をタップする

ダビング10の
録画番組



- 3 (ダビング)をタップする



- 画面の指示に従ってダビングを開始してください。

ダビング10について

USBハードディスクに録画した番組を、iOS機器へ10回までダビングすることができます。
(コピー*1:9回 + ムーブ*2:1回)

※1 コピー:オリジナルを残したまま複製が可能。

※2 ムーブ:録画した番組の保存場所を移動させること。

(iOS機器に10回目のダビングをしたとき、その録画番組はUSBハードディスクから消去されます。)

- 地上/BSデジタル放送はダビング10に対応していますが、全てのデジタル放送がダビング10に対応しているわけではありません。

ダビングした番組を再生する

- 1 メニュー画面で[持ち出し番組]をタップし、再生したい録画番組を選ぶ

リストの並べ
替えができます。

上下スワイプで
番組名をスク
ロールできます。



タップすると番組の詳細情報を表示
(再生/消去の操作ができます)

お知らせ

- 1回のみデジタルコピーが可能な録画番組(コピーワンズ)では、ダビングが正常に終了するとUSBハードディスクに保存された元の番組は消去されます。
- ダビング先のiOS機器の容量が満杯になると途中で中断されます。
- iOS機器にダビングした番組をUSBハードディスクへ移動することはできません。
- ダビング中に予約録画が始まると、ダビングは中断します。予約録画中や他の機器への放送転送、録画番組転送またはダビング中は、ダビングはできません。

視聴・再生

●録画番組をダビングする
●録画番組を再生する

番組を見ながらインターネットを楽しむ

本機がインターネットに接続されている場合は、番組の視聴や録画を再生しながら、アプリケーション内のWebブラウザでインターネットを楽しむことができます。



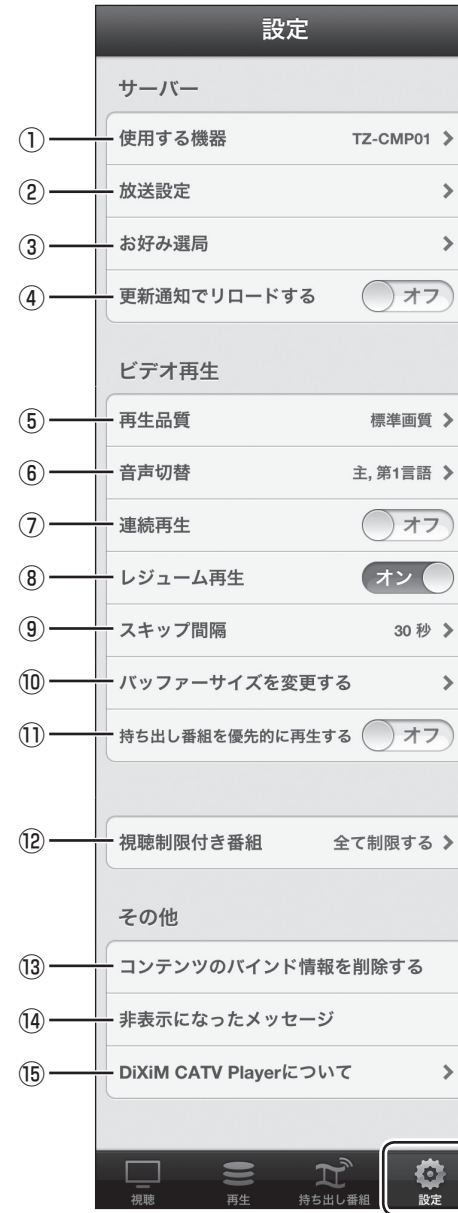
お知らせ

- ブラウザ画面を左右にスワイプすると、新しいページを開くことができます。(最大3ページ)
- 他のブラウザとブックマークを共用することはできません。
- iPhone/iPod touch の横向き表示時はブラウザを表示できません。

● 画面イメージはiPhone/iPod touch版です。iPad版は一部デザインが異なる場合があります。

アプリの設定を変更する

お好みに応じて、アプリケーションの設定を変更することができます。



■サーバーの設定

- ① **使用する機器**
対象機種を複数所有している場合、使用する機器(機種名)を選びます。(機器が未接続の場合は灰色で表示されます)
- ② **放送設定**
各チャンネルごとに、チャンネルリストでの表示/非表示を設定できます。また、チャンネルリストの並べ替えもできます。
- ③ **お好み選局**
放送設定で表示するチャンネルのうち、お好みリストに表示するチャンネルを設定します。
- ④ **更新通知でリロードする**
・[オン](初期値)/[オフ]

■ビデオ再生の設定

- ⑤ **再生品質**
録画番組の再生画質を設定します。
・[標準画質](初期値)/[高画質]
- ⑥ **音声切替**
録画番組の音声を設定します。
・二重音声:[主](初期値)/[副]/[主+副]
・マルチ音声:[第1言語](初期値)~[第8言語]
- ⑦ **連続再生**
録画番組の再生が終了したとき、連続して次のコンテンツを再生するかどうかを設定します。
・[オン]/[オフ](初期値)
- ⑧ **レジューム再生**
録画番組の再生を停止したときに、次回の再生を停止したところから再生(レジューム再生)するかどうかを設定します。
・[オン](初期値)/[オフ]
- ⑨ **スキップ間隔**
スキップ時のスキップ時間を設定します。
・[15秒]/[30秒](初期値)/[60秒]/[90秒]/[120秒]
- ⑩ **バッファサイズを変更する**
録画再生時のバッファサイズを設定します。
・[小さい(速い)]~[大きい(安定)](初期値)
- ⑪ **持ち出し番組を優先的に再生する**
同じ録画番組がiOS機器内にダビングされている場合、優先的に再生するかどうかを設定します。
・[オン]/[オフ](初期値)
- ⑫ **視聴制限付き番組**
視聴制限のある番組の視聴可能年齢を設定します。
・[全て制限する](初期値)/[4歳]~[19歳]/[制限しない]

■その他

- ⑬ **コンテンツのバインド情報を削除する**
レジューム再生などの録画番組に結び付けられた情報を削除します。
- ⑭ **非表示になったメッセージ**
非表示になったメッセージを再度表示します。
- ⑮ **DiXiM CATV Playerについて**
このアプリに関する情報を表示します。

お知らせ

- 最初に視聴制限付き番組の設定をする場合は、パスコードの設定が必要です。(設定を変更する場合や視聴時には、このパスコードの入力が必要になります。)
- 画面イメージはiPhone/iPod touch版です。iPad版は一部デザインが異なる場合があります。

視聴・再生

● アプリの設定を変更しながらインターネットを楽しむ

録画予約する (リモート予約)

別売のUSBハードディスクを本機に接続すると、宅内外のPC/スマートフォンから録画予約(リモート予約)ができます。(対応サービスへの加入登録が必要です。)

録画予約の方法は、ご加入のケーブルテレビ局により異なります。詳しくは、ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

- 録画された番組は、DiXiM CATV Playerで再生できます。(P. 38ページ)
- USBハードディスクの接続のしかた (P. 30ページ)

お知らせ

- 予約は64件までできます。(「探して毎回予約」は32件まで)
- 2番組同時録画はできません。
- USBハードディスク1台に、最大500の番組が録画できます。500番組を超えると、録画できません。
- USBハードディスクに録画中、空き容量がなくなると、録画は中断します。
- 録画できる残り時間を確認してください。録画できる残り時間が十分でない場合は対応サービスの画面で不要な番組を消去してください。
- 録画モードは480pの録画になります。放送システムの設定で、DR(標準)/480pの同時録画もできます。(P. 68ページ)
- 録画時の映像・音声について
 - マルチビューには対応していません。
 - 字幕はDRモードの場合のみ記録されます。
 - 録画モードが480pの場合、マルチ音声は第1音声のみ記録されます。
 - 二重音声番組を録画した場合は、副音声への切り換えができない場合があります。また、番組によっては二重音声と同時に聞こえる場合があります。
- 番組がデジタルコピー禁止の場合は、正しく録画されません。
- ペイ・パー・ビュー(PPV)の番組は、録画予約できません。

リモート予約のご利用について

不正利用を防ぐために

- 機器パスワードは
 - 他人に見られたり、教えたりしないでください。
 - 第三者が本機の設置・設定を行った場合は、必ず変更してください。
 - 修理依頼する場合は機器パスワードを初期化し(P. 68ページ)、再設定してください。
 - 機器を返却する場合は、機器パスワードを初期化してください。
- 当社およびご加入のケーブルテレビ局では、ネットワークのセキュリティに関する技術情報についてはお答えできません。
- スマートフォンなどのモバイル機器を紛失した場合は、第三者による不正な使用を避けるため、直ちに加入されていた通信事業者、対応サービス提供者へ連絡してください。

対応サービスについて

- サービスは対応サービス提供者が提供します。
- 現在無料のサービスでも、将来有料になることがあります。
 - 録画予約のご利用には、対応サービスに加入していただく必要があります。
 - 定期的なメンテナンスや、不測のトラブルで一時的にサービスを停止したり、予告ありなしにかかわらず、サービス内容の変更・中止や操作メニュー画面の変更をする場合があります。あらかじめご了承ください。

免責事項について

- 機器登録時や会員登録時のパスワードが第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。パスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。当社およびご加入のケーブルテレビ局では不正利用された場合の責任は負いません。
- 当社が検証していない接続機器、ソフトウェアなどの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社およびご加入のケーブルテレビ局では責任を負いません。
- 本機がお手元でない場所から問い合わせの際、本機自体の接続や現象などの目視確認が必要な内容については、お答えできません。
- ルーターのセキュリティ設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。ルーターのセキュリティ設定により発生した障害に関して、当社およびご加入のケーブルテレビ局では責任を負いません。また、外付けのルーターをご使用の場合、設定・使用方法などに関する問い合わせには、当社およびご加入のケーブルテレビ局ではお答えできません。

本機を設定する

PC/スマートフォンから本機を設定するには

- 本機の設定画面はパソコンやスマートフォンなどのブラウザを使ってアクセスしてください。
- 動作モード3(アクセスポイントモード/有線ブリッジ)または動作モード4(クライアントモード)に設定しているときは(P. 45ページ)、パソコンやスマートフォンのIPアドレスを「192.168.100.xxx」に設定しておく必要があります。

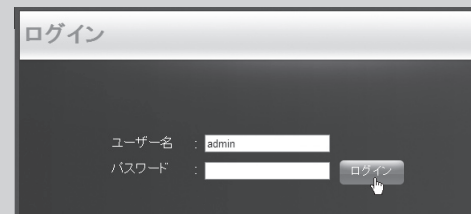
設定画面の出しかた

- 1 本機とパソコンなどをLAN接続している状態で、Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動して、Webブラウザのアドレスバーに「http://tzcmp01/」と入力し、Enterキーを押す



- 接続認証画面が表示されます。
- 接続認証画面が表示されないときは、下記をアドレスバーに入力してください。
動作モード1,2:
http://192.168.0.1/
動作モード3,4:
http://192.168.100.100/

- 2 ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]をクリック(タップ)する



初期値

ユーザー名：admin
パスワード：なし

認証に成功すると設定画面が表示されます

- 本機のルーター情報が表示されます。(例：動作モード1)



- **メイン** (P. 44ページ)
- **インターネット** * (P. 46ページ)
- **LAN** * (P. 47ページ)
- **無線LAN** (P. 49ページ)
- **詳細設定** * (P. 55ページ)
- **管理** (P. 59ページ)
- **ケーブルモデム** * (P. 62ページ)
- **放送システム** (P. 63ページ)

* 動作モード3,4(P. 14, 45ページ)に設定している場合は表示されません。

ルーター機能の設定

■設定が終わったら、
[OK]をクリック(タップ)すると内容が反映
されます。

メイン

本機のルーター情報の表示と本機の動作モードを設定します。

③ 設定画面で[メイン]をクリック(タップ)する

ルーター情報

本機のルーター機能の設定状態を表示します。

ルーター情報		
全般		
時刻	2013/05/07 09:22:35	
ファームウェアバージョン	1.00.00	
WAN		
接続タイプ	DHCP Client	
リンク状態	接続済み	
インターネット接続状態	未接続	
接続経過時間	0日0時0分0秒	
MACアドレス	d8:9e:ec:b6:b4:74	
IPアドレス	0.0.0.0	
サブネットマスク	0.0.0.0	
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0	
プライマリDNS	0.0.0.0	
セカンダリDNS	0.0.0.0	
LAN		
MACアドレス	d8:9e:ec:b6:b4:70	
IPアドレス	192.168.0.1	
サブネットマスク	255.255.255.0	
DHCPサーバー	有効	
無線LAN 2.4GHz		
無線LAN	有効	
MACアドレス	d8:9e:ec:b6:b4:70	
無線動作モード	802.11n/g/b	
チャンネル	20/40MHz	
チャンネル	自動	
ネットワーク名(SSID1)	CMR01_2p_E#Wjcb	
WPS (Wi-Fi Protected Setup)	有効設定済み	
セキュリティ	WPA/WPA2-PSK	
セカンダリ無線LAN	有効	
セカンダリMACアドレス	d8:9e:ec:b6:b4:71	
ネットワーク名(SSID3)	CMR01_2s_E#Wjcb	
セカンダリセキュリティ	WEP	
無線LAN 5GHz		
無線LAN	有効	
MACアドレス	d8:9e:ec:b6:b4:72	
無線動作モード	802.11n/a	
チャンネル	20/40MHz	
チャンネル	自動	
ネットワーク名(SSID2)	CMR01_5p_E#Wjcb	
WPS (Wi-Fi Protected Setup)	有効設定済み	
セキュリティ	WPA/WPA2-PSK	
LAN接続機器		
MACアドレス	IPアドレス	名前
00:1e:a0:73:d7:6a	192.168.0.146	PC-DE071100221

本機のファームウェアなどの情報

WAN側の設定情報

●動作モード3、4の場合は表示されません

LAN側の設定情報

●動作モード3、4の場合は表示されません

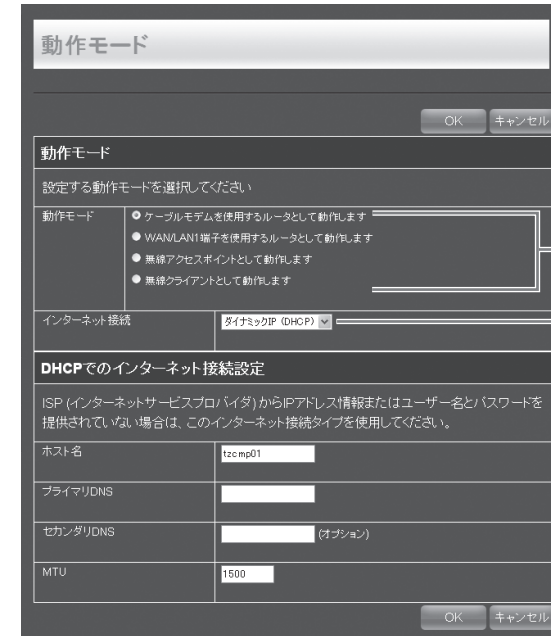
無線LAN(2.4 GHz)の設定情報

無線LAN(5 GHz)の設定情報

LAN接続機器の情報

動作モード

本機の動作モードとインターネット接続の種類を設定します。



②インターネット接続の種類を選ぶ

固定IP

IPアドレスなどを手動で入力します。

●プロバイダから提供された固定アドレス情報を設定してください。

ダイナミックIP(DHCP)

(初期値)

DHCPサーバーから自動的にIPアドレスを取得します。

●必要に応じてプロバイダから提供されたホスト名、DNS、MTU値を設定します。

PPPoE*

PPPoEサーバーからIPアドレスを取得します。

●プロバイダから提供された情報を設定してください。

PPTP**

ご加入のプロバイダがPPTP接続を使用している場合に選びます。

●プロバイダから提供された情報を設定してください。

* 動作モード2の場合のみ表示されます。

■インターネット接続設定

手順②で選んだ接続の種類に応じて、ご加入のISP(インターネットサービスプロバイダ)から提供された情報を入力してください。

■無線LAN設定

手順①の動作モードで「モード4」(クライアントモード)を選んだ場合、無線LAN接続するアクセスポイントの情報を入力してください。

ワイヤレスネットワーク名

セキュリティモード

■動作モード

①本機で使用するルーターの動作モードを選ぶ

●14ページのインターネットの接続に合わせて下記のモード1~4を選んでください。

モード1

(初期値)

ケーブルモデムを使用するルーターとして動作します。
(アクセスポイントモード)

モード2

WAN端子を使用するルーターとして動作します。
(アクセスポイントモード)

モード3

本機を無線LAN親機として使う場合など、無線アクセスポイントとして動作します。
(アクセスポイントモード)

モード4

本機を別の無線LAN親機に接続する場合など、無線クライアントとして動作します。
(クライアントモード)

ルーター機能の設定

インターネット

インターネット(WAN)の設定をします。

3 設定画面で [インターネット] をクリック(タップ)する

- 動作モード3、4(☞ 45ページ)に設定している場合は、表示されません。

接続状態(WAN)

本機のインターネット(WAN)の接続状態を表示します。

接続状態	
WAN	
接続タイプ	DHCP Client
リンク状態	接続済み
インターネット接続状態	未接続
DHCPのIPアドレス	<input type="button" value="更新"/> <input type="button" value="解除"/>
接続経過時間	0日0時0分0秒
MACアドレス	d0:ae:ec:bb:be:74
IPアドレス	0.0.0.0
サブネットマスク	0.0.0.0
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
プライマリDNS	0.0.0.0
セカンダリDNS	0.0.0.0

接続設定(WAN)

インターネット(WAN)に接続するための設定をします。

接続設定

動作モード

インターネット接続にルーターが使用するモードを選択します。

インターネット接続

ダイナミックIP (DHCP)

DHCPでのインターネット接続設定

ISP (インターネットサービスプロバイダ)からIPアドレス情報またはユーザー名とパスワードを提供されていない場合は、このインターネット接続タイプを使用してください。

ホスト名

プライマリDNS

セカンダリDNS

固定IP

IPアドレスなどを手動で入力します。

- プロバイダから提供された固定アドレス情報を設定してください。

ダイナミックIP(DHCP) (初期値)

DHCPサーバーから自動的にIPアドレスを取得します。

- 必要に応じてプロバイダから提供されたホスト名、DNS、MTU値を設定します。

PPPoE*

PPPoEサーバーからIPアドレスを取得します。

- プロバイダから提供された情報を設定してください。

PPTP*

ご加入のプロバイダがPPTP接続を使用している場合に選びます。

- プロバイダから提供された情報を設定してください。

※ 動作モード2の場合のみ表示されます。

■インターネット接続設定

上記で選んだ接続の種類に応じて、ご加入のISP (インターネットサービスプロバイダ)から提供された情報を入力してください。

DDNS

ダイナミックDNSサービス使用時の設定をします。

DDNS

DDNS設定

DDNSを有効にする

サーバーアドレス

ホスト名

ユーザー名またはキー

パスワードまたはキー

パスワードまたはキーを確認

タイムアウト (時間)

状態

■DDNS設定

ダイナミックDNSサービスを使用する場合は、「DDNSを有効にする」のチェックボックスにチェックを入れ、DDNSから提供された情報を設定してください。(初期値:無効)

サーバーアドレス

ホスト名

ユーザー名またはキー

パスワードまたはキー

タイムアウト

■設定が終わったら、[OK]をクリック(タップ)すると内容が反映されます。

LAN

LANの設定をします。

3 設定画面で [LAN] をクリック(タップ)する

- 動作モード3、4(☞ 45ページ)に設定している場合は、表示されません。

LAN設定

本機のLANの設定をします。

LAN設定

ルーター設定

ここでIPアドレスを変更した場合、接続している機器のIPアドレスの再設定が必要な場合があります。

ルーターのIPアドレス

デフォルトサブネットマスク

ホスト名

■ルーター設定

ルーターのIPアドレス

本機の内蔵ルーターのIPアドレスを変更できます。インターネットへのアクセスで経由すべき機器のIPアドレスです。(初期値:192.168.0.1)

デフォルトサブネットマスク

ネットワークを効率的に使うために、ブロードバンドルーターにつながる機器のIPアドレスを絞り込むための数字です。(初期値:255.255.255.0)

ホスト名

(初期値:tzcmp01)

お知らせ

- LAN設定を変更した場合は、再度ネットワークに接続するためにパソコンなどのネットワーク機器のネットワーク設定も変更する必要があります。

ルーター機能の設定

DHCPサーバー

LAN側(有線LANおよび無線LANのプライマリネットワーク)のDHCPサーバー機能(IPアドレスの自動払い出し)の開始アドレスと終了アドレスを指定する設定です。

■DHCPサーバー設定

DHCPサーバーを有効にする場合は、「DHCPサーバーを有効にする」のチェックボックスにチェックを入れ、下記の設定をしてください。(初期値:有効)

- DHCPのIPアドレス範囲** (初期値:100~149)
- DHCPリース時間** (初期値:10080分)
- 常時ブロードキャスト** (初期値:無効)

DHCP固定割り当て設定

固定IPでネットワーク機器を追加する場合は、「有効」のチェックボックスにチェックを入れ、下記を設定してください。(初期値:無効)

■固定IPアドレス設定

- ホスト名** 追加する機器の名称です。
- IPアドレス** 追加する機器のIPアドレスです。
- MACアドレス** 追加する機器のMACアドレスです。パソコンのMACアドレスを複製する場合は[PCのMACアドレスを複製]をクリック(タップ)します。

入力後、[追加/アップデート]をクリック(タップ)してください。

IPアドレスについて
ネットワーク上の機器を識別するために指定する識別用の番号です。

MACアドレスとは
Media Access Control の略で、各機器に割り振られた固有のアドレスです。このMACアドレスを元にして、データを送受信する相手を識別します。

無線LAN

無線LAN機能の詳しい設定ができます。

3 設定画面で [無線LAN] をクリック(タップ)する

無線LAN設定
無線帯域(2.4GHz/5GHz)ごとに無線LANの設定ができます。

■設定が終わったら、[OK]をクリック(タップ)すると内容が反映されます。

動作モード4(クライアント)の場合

① 無線LANモード

- アクセスポイントモード** (初期値) 本機は無線LANのアクセスポイントとして機能しています。
- クライアントモード** 既存のネットワークと無線でブリッジ接続しています。

本機の動作モードを変更するときは、[動作モード]をクリック(タップ)してください。

② 無線LAN設定

- 無線帯域(2.4 GHz) 2.4 GHzの通信周波数帯域を使用するかどうかを設定します。
無線LANを有効にする (初期値:有効)
- 無線帯域(5 GHz) 5 GHzの通信周波数帯域を使用するかどうかを設定します。
無線LANを有効にする (初期値:有効)

ルーター機能の設定 本機の設定

ルーター機能の設定

③ ネットワーク名(SSID1/SSID2)

半角英数の任意の文字列が設定できます。

●セキュリティ上、12文字以上で設定することをおすすめします。(最大32文字)

CMP01_2p_xxxx SSID1 : 2.4GHz(初期値)

CMP01_5p_xxxx SSID2 : 5GHz(初期値)

※xxxx部分は製品によって異なります。
(初期値は本機側面の貼付シールにも記載しています。)

SSIDとは

無線LANアクセスポイントを識別するためのグループ名です。実際の名称は、ESSIDを使用します。本機では2.4 GHzの無線周波数用と5 GHzのと無線周波数用の2つあります。

④ 無線動作モード

無線LANの通信規格を設定します。
接続する無線LAN機器が対応しているモードに設定してください。

■ 2.4 GHzの場合

802.11b only

802.11g only

802.11n only

Mixed 802.11g and 802.11b

Mixed 802.11n and 802.11g

Mixed 802.11n, 802.11g and 802.11b

(初期値)

■ 5 GHzの場合

802.11a only

802.11n only

Mixed 802.11a and 802.11n

(初期値)

⑤ 自動チャンネルスキャン

無線LANが混信して、通信速度が遅くなる場合、自動的に別のチャンネルに変更するように設定できます。

自動チャンネルスキャンを有効にする (初期値 : 有効)

⑥ チャンネル

無線LANが混信して、通信速度が遅くなる場合、別のチャンネルに変更すると改善することがあります。
自動チャンネルスキャンを無効にしているときのみ設定できます。

■ 2.4 GHzの場合

CH1~CH13 (初期値 : CH 1)

■ 5 GHzの場合

CH36, CH40, ……CH64 (初期値 : CH 36)
CH100, CH104, ……CH140

通信チャンネルについて

2.4 GHz帯の場合、チャンネル番号が近くなるほど周波数の重なりが多くなり、混信しやすくなります。他の無線LAN機器が使用中のチャンネルとの間隔を5チャンネル以上あげると電波干渉の影響を受けにくくなります。5 GHz帯の場合、チャンネル間の重なりがないため各チャンネル間で電波干渉の影響がありません。他の無線LAN機器が使用していないチャンネルに設定することをおすすめします。

⑦ チャンネル幅

無線LANの通信速度が遅いとき、通信チャンネルの幅を設定することで、通信速度が改善することがあります。

20 MHz

電波干渉がある場合でも通信速度を抑えて、40 MHzよりも安定した通信ができます。

20/40 MHz (自動)

(初期値)

お使いの環境に合わせて自動で20 MHzと40 MHzを切り換えます。

チャンネル幅について

チャンネル幅の数値を大きく設定すると、他の機器との電波干渉がない場合は、通信速度が速くなります。電波干渉がある場合は、混信によりかえって通信速度が遅くなる場合があります。

⑧ SSID表示

無線LAN接続機器に本機のSSIDを知らせるかどうかを設定します。

表示 知らせる
(初期値)

非表示 知らせない

SSID表示について

「非表示」に設定した場合、無線LAN接続機器が本機に接続するには、SSIDとパスワード(ネットワークキー)の両方入力する必要があります。SSIDを知らされていない機器は接続することができません。

⑨ WMM有効

WMM(Wi-Fiマルチメディア)対応の家電製品と無線で通信する場合に、通信の優先度を制御させるかどうかを設定します。

ワイヤレスQoS (初期値 : 有効)

●無線動作モードが「802.11a」「802.11b」「802.11g」の場合のみ無効に設定できます。

⑩ 無線LANセキュリティモード

無線LANで通信する場合の、セキュリティモード(暗号化方式)を設定します。
接続する無線LAN機器が対応している方式に設定してください。

※セキュリティモードが違っていると、接続できません。

なし

WEP (初期値)

・動作モード4の場合

WPA パーソナル (初期値)

WPA2 パーソナル

WPA_WPA2 パーソナル

●無線動作モードの設定内容により、選択できるセキュリティモードは異なります。

■設定が終わったら、
[OK]をクリック(タップ)すると内容が反映されます。

⑪ WPA

無線LANで通信する場合の、セキュリティモードの暗号化タイプを設定します。
接続する無線LAN機器が対応しているタイプに設定してください。

※暗号化タイプが違っていると、接続できません。

■WPAモード

自動(WPA or WPA2) (初期値)

WPA2

WPA

■暗号化タイプ

TKIP and AES (初期値)

TKIP

AES

■グループキーのアップデート間隔

30~65535 (初期値 : 3600秒)

WPAモードについて

WPA2方式が一番セキュリティレベルが高く、次にWPA方式となります。接続機器がWPA2方式に対応している場合は、WPA2方式で使用されることをおすすめします。また、接続機器が複数ある場合は、一番セキュリティレベルが低い機器に合わせて設定してください。

⑫ パスコード

無線LAN接続のパスワードを設定します。

●入力できるのは8~63文字の半角英数字です。
※パスワードの初期値は製品によって異なりますので、通常はそのままご使用になれます。安全上、必要な場合のみ変更してご使用ください。(初期値は本機側面の貼付シールにも記載しています。)

⑬ 無線LAN設定(動作モード4のみ)

■ワイヤレスネットワーク名

本機と接続するアクセスポイントのワイヤレスネットワーク名(SSID)を入力し、無線帯域(2.4 GHz/5 GHz)を選びます。

ルーター機能の設定

⑭ 接続可能なネットワーク表示 (動作モード4のみ)

[スキャン]をクリック(タップ)すると、本機が受信している無線LANのネットワークを表示します。

⑮ WEP (動作モード4のみ)

無線LAN接続するアクセスポイントの情報を設定してください。

■WEPキー長

64 bit (10 hex digits) (初期値)

128 bit (26 hex digits)

■認証

Both (初期値)

Shared Key

■WEPキー

無線LAN接続するアクセスポイントのWEPキーを入力してください。

- WEPキー長(64 bit) : 5文字以下
- WEPキー長(128 bit) : 13文字以下

WPS

本機と無線LAN機器をWPS機能を使って接続します。

WPS(Wi-Fi Protected Setup™)とは
無線LAN機器間の暗号化設定をかんたんにできるようにするための規格です。
プッシュボタン方式とPINコード方式があり、本機は両方の方式に対応しています。



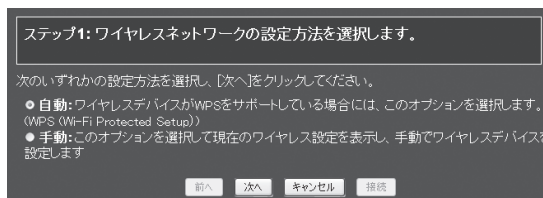
WPS機能を使う場合は、「有効」のチェックボックスにチェックを入れておいてください。(初期値：有効)

本機がアクセスポイントの場合

本機の動作モードが「アクセスポイントモード」(モード1~3、45ページ)の場合に設定できます。

WPS機能による設定

- ① 「無線LANクライアントを追加する」の[接続]をクリック(タップ)する
- ② 本機との無線LAN接続方法を選び、[次へ]をクリック(タップ)する

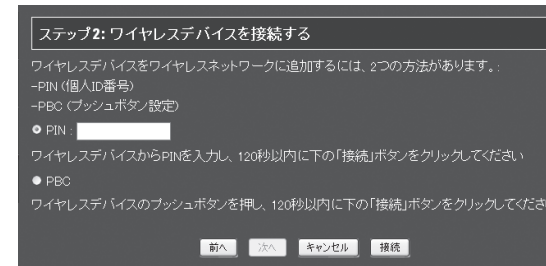


自動 (初期値) WPS機能を使って本機に接続する場合

手動 接続する機器側で本機の設定情報を入力して接続する場合

- 「手動」を選んだ場合は、次画面で表示される本機の情報や、接続する機器側の操作で入力してください。接続する機器での登録操作については、機器の取扱説明書をご確認ください。

③ WPS機能での設定方式(プッシュボタン方式/PINコード方式)を選ぶ



PIN (初期値) 接続する機器のPINコードを使って設定する場合

PBC 接続する機器のWPSボタンを使って設定する場合

「PIN」を選んだとき

- ④ 「PIN : 」に接続する機器のPINコードを入力し、[接続]をクリック(タップ)する
 - 本機がWPSの登録モードに切り換わります。(120秒間)
 - PINコードは接続機器によって決まっていますので、あらかじめ接続機器の取扱説明書などでご確認ください。

- ⑤ 接続する機器のWPSボタンを押す (またはWPSの登録モードに設定する)



- 接続機器のWPSボタンまたはWPSの登録モードについては、機器の取扱説明書をご確認ください。
- 登録が終了すると、画面に表示が出ます。

「PBC」を選んだとき

- ④ [接続]をクリック(タップ)する

- 本機がWPSの登録モードに切り換わります。(120秒間)

- ⑤ 接続する機器のWPSボタンを押す



- 接続機器のWPSボタンについては、機器の取扱説明書をご確認ください。
- 登録が終了すると、画面に表示が出ます。

■設定が終わったら、[OK]をクリック(タップ)すると内容が反映されます。

本機がクライアントの場合

本機の動作モードが「クライアントモード」(モード4、45ページ)の場合は、下記の操作でアクセスポイントに登録できます。

WPSボタンによる登録

- ① 本機のWPSボタンを数秒間押す

- 本機がWPSの登録モードに切り換わり、本機前面のネットランプが橙色点滅します。(120秒間)

- ② 接続したいアクセスポイントのWPSボタンを押す



- アクセスポイントのWPSボタンについては、アクセスポイントの取扱説明書をご確認ください。
- 登録が終了すると、本機前面のネットランプが橙色点滅から元の状態に戻ります。

PINコードによる登録

- ① 接続したいアクセスポイントのPIN入力画面を表示させる

- アクセスポイントのPINコードの入力方法は接続機器の取扱説明書をご確認ください。

- ② 「PIN設定」に表示されている本機のPINコードを、接続したいアクセスポイントに入力し、接続操作をする

- WPS設定が終了すると、本機前面のネットランプが橙色点滅から元の状態に戻ります。

新しいPINコードを表示する

本機のPINコードを変更したい場合は、[PINの新規作成]をクリック(タップ)すると、新しいPINコードが表示されます。

PINコードを初期値に戻す

本機のPINコードを初期値に戻したい場合は、[PINをデフォルトにリセット]をクリック(タップ)すると、PINコードが出荷状態に戻ります。

ルーター機能の設定

■設定が終わったら、
[OK]をクリック(タップ)すると内容が反映
されます。

セカンダリ無線LAN設定

暗号化方式がWEPしか対応していない無線LAN機器を本機に接続したい場合などは、SSID3の無線LAN(2.4GHz)を使用することができます。(初期値：有効)

SSID3を使用する場合は、「セカンダリ無線LANを有効にする」のチェックボックスにチェックを入れ、下記の設定を行います。(初期値：有効)

■ネットワーク名(SSID3)

(初期値)

※xxxx部分は製品によって異なります。
(初期値は本機側面の貼付シールにも記載されています。)

■セキュリティモード

WEP (初期値)

WPAパーソナル

■WEPキー長

64 bit (10 hex digits)

128 bit (26 hex digits) (初期値)

■認証

Both

Shared Key (初期値)

セキュリティモードで「WEP」を選んだ場合

■WEPキー

入力できる文字は半角英数字です。

- WEPキー長(64 bit)：5文字以下
- WEPキー長(128 bit)：13文字以下

※WEPキーの初期値は製品によって異なりますので、通常はそのままでご使用になれます。安全上、必要な場合のみ変更してご使用ください。(初期値は本機側面の貼付シールにも記載されています。)

セキュリティモードで「WPAパーソナル」を選んだ場合

■WPAモード

自動(WPA or WPA2) (初期値)

WPA2

WPA

■暗号化タイプ

TKIP and AES (初期値)

TKIP

AES

■グループキーのアップデート間隔

(初期値：3600秒)

■パスコード

入力できるのは8~63文字の半角英数字です。

セキュリティモードについて

- WPA2方式が一番セキュリティレベルが高く、次にWPA方式となります。接続機器がWPA2方式に対応している場合は、WPA2方式で使用されることをおすすめします。また、接続機器が複数ある場合は、一番セキュリティレベルが低い機器に合わせて設定してください。
- WEP方式はセキュリティレベルが低いため、接続機器がWEP方式しか対応していない場合などに限定して使用することをおすすめします。

詳細設定

ルーターの詳細設定が行えます。

3 設定画面で [詳細設定] をクリック(タップ)する

●動作モード3、4(45ページ)に設定している場合は、表示されません。

ポートフォワード

WAN側からの特定のポート番号(LAN側に設置されたWebサーバー、FTPサーバー、メールサーバーなど)宛での通信を、LAN側にフォワード(転送)する設定です。(最大32件)

ポートフォワードを有効にする場合は、右記の設定を行い、チェックボックスにチェックを入れます。

■名前

(任意の名前を入力または下記より選ぶ)

■IPアドレス

(転送先のLAN側IPアドレスを入力またはホスト名より選ぶ)

■パブリックポート/プライベートポート

(転送先の開始ポート/終了ポート)

}

■トラフィックタイプ

(送受信するときのプロトコル)

すべて (初期値)

TCP

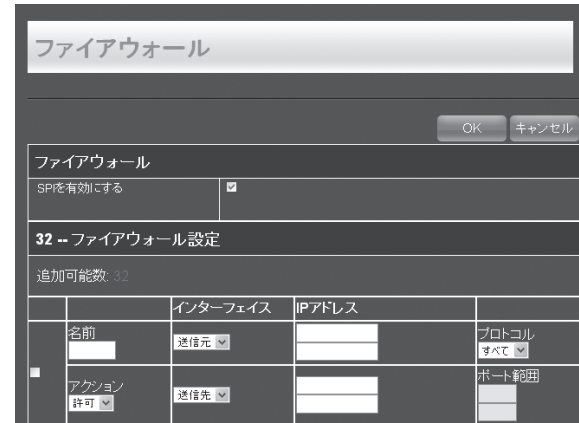
UDP

ポートフォワードの対象となるLAN側の機器には、固定IPアドレスを割り振ってご使用ください。

ルーター機能の設定

ファイアウォール

インターネット接続時に外部からのアクセスを制限して不正アクセスを防止する機能です。設定した条件に一致したパケットの通信を許可するかブロックするか設定します。(最大32件)(LAN側の機器間の通信には影響しません。)(初期値：有効)



ファイアウォールを有効にする場合は、「SPIを有効にする」のチェックボックスにチェックを入れ、下記の設定を行います。

■名前

■アクション

許可 (初期値)

拒否

■インターフェイス(送信元/送信先)

LAN

WAN

■IPアドレス(送信元/送信先)

■プロトコル

すべて (初期値)

TCP

UDP

ICMP

■ポート範囲

}

ファイアウォールを有効にする場合、対象となるLAN側の機器には、固定IPアドレスを割り振ってご使用ください。

MACフィルター

指定したLAN側のMACアドレスを持つ機器でのみ、本機との通信を許可または拒否できるように設定できます。(最大32件)



MACフィルターをオフにします。(初期値)

MACフィルターをオンにして、設定したMACアドレスのアクセスを許可します。

MACフィルターをオンにして、設定したMACアドレスのアクセスを拒否します。

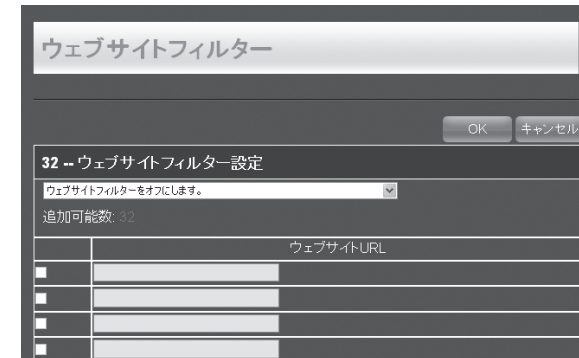
MACフィルターをオンに設定した場合は、リストに許可または拒否するMACアドレスを入力し、チェックボックスにチェックを入れます。

MACアドレスとは

Media Access Control の略で、各機器に割り振られた固有のアドレスです。このMACアドレスを元にして、データを送受信する相手を識別します。

ウェブサイトフィルター

指定したURLのみアクセスを許可または拒否できるように設定できます。(最大32件)



ウェブサイトフィルターをオフにします。(初期値)

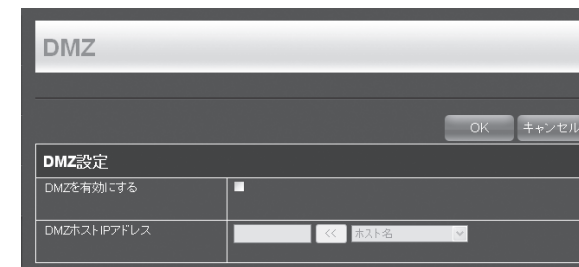
ウェブサイトフィルターをオンにして、設定したサイトへのアクセスを許可します。

ウェブサイトフィルターをオンにして、設定したサイトへのアクセスを拒否します。

ウェブサイトフィルターをオンに設定した場合は、リストに許可または拒否するURLを入力し、チェックボックスにチェックを入れます。

DMZ

WAN側からの全ての通信を、特定の1台のパソコンへ転送する機能です。DMZ機能を「有効」にするとルーターが把握していないWAN側からの通信は、DMZホストとして指定したIPアドレスのパソコンへ、自動的に転送されるようになります。(初期値：無効)



DMZを有効にする場合は、チェックボックスにチェックを入れ、DMZホストIPアドレスを入力します。

■設定が終わったら、[OK]をクリック(タップ)すると内容が反映されます。

ルーティング

複数のローカルネットワークがあるとき、別のネットワーク間との静的ルーティングを設定します。(最大32件)



ルーティングを有効にする場合は、下記の設定を行い、チェックボックスにチェックを入れます。

■名前

■ネットマスク

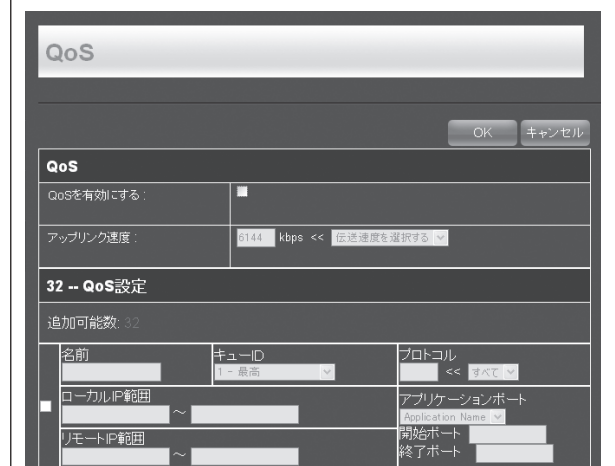
■送信先IP

■ゲートウェイ

■インターフェイス

QoS

QoS(Quality of Service)の設定をします。



QoSを設定する場合は、「QoSを有効にする」のチェックボックスにチェックを入れ、次ページの設定を行い、チェックを入れます。(最大32件)(初期値：無効)

ルーター機能の設定

■アップリンク速度

(任意の速度を入力または下記より選ぶ)

128k	2M
256k	3M
384k	5M
512k	10M
1M	20M

(初期値：6144 kbps)

■名前

■キューID

1 - 最高	(初期値)
2 - やや高い	
3 - 通常	
4 - ベストエフォート型	

■プロトコル

すべて
TCP
UDP

■ローカルIP範囲

■リモートIP範囲

■アプリケーションポート(開始/終了ポート)

(任意のポートを入力または下記より選ぶ)

FTP
HTTP
HTTPS
DNS
SMTP
POP3

ALG(Application Level Gateway)

暗号化された通信を通過させるかどうかを設定します。

PPTP	(初期値：有効)
IPSec(VPN)	(初期値：有効)
RTSP	(初期値：有効)
SIP	(初期値：有効)

UPnP

UPnP機能とは対応したネットワーク機器同士が相互に自動認識するための機能です。有効にすると、UPnP機能を利用した音声・映像チャット、ゲームなどの通信が可能になります。

UPnP機能を有効にする場合は、チェックボックスにチェックを入れてください。
(初期値：有効)

お知らせ

- UPnP機能を利用するには、接続する機器側でもUPnP機能の設定が必要です。

その他設定

WAN Pingとマルチキャストストリームの設定をします。

■WAN Ping

WAN Pingの設定をします。

WANのPing応答を有効にする	(初期値：無効)
------------------	----------

■マルチキャストストリーム

マルチキャストストリームの設定をします。

マルチキャストストリームを有効にする	(初期値：有効)
ワイヤレス拡張モード	(初期値：有効)

■設定が終わったら、[OK]をクリック(タップ)すると内容が反映されます。

管理

管理者の設定をします。

3 設定画面で[管理]をクリック(タップ)する

管理者

ログイン時のパスワードとリモート管理の設定をします。

■管理者パスワード

パスワード	(初期値：なし)
-------	----------

■管理

リモート管理を有効にする	(初期値：無効)
リモート管理ポート	(初期値：8080)

ルーター機能の設定

日付と時刻

日付と時刻の設定をします。

■タイムゾーン

(GMT+09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo (初期値)

■夏時間

夏時間を有効にする (初期値：無効)

夏時間のオフセット

夏時間の期間

■日付と時刻の自動設定

NTPサーバーと自動的に同期する (初期値：有効)

NTPサーバーURL (初期値：ntp.nict.jp)

システム

設定の保存と復元を行います。

ファイルに設定を保存する ダウンロード先に本機の設定ファイルを保存します。

ファイルから設定を復元する 保存した設定ファイルで本機を設定します。

工場出荷時設定に戻す 本機の設定内容をお買い上げ時の設定に戻します。

ルータの再起動 本機を再起動します。

ファームウェア

本機のファームウェアの情報の表示と、アップデートの設定をします。

■ファームウェアの更新

本機にLAN接続されたパソコンに保存されたファームウェアの更新ファイルを選び、[更新]をクリック(タップ)してください。

お知らせ

- 更新中は他の操作はできません。また、故障の原因となりますので、ACアダプターをコンセントから抜かないでください。

ログ

ログファイルの設定をします。

ログファイルを保存するときは、[OK]をクリック(タップ)し、保存先を指定します。

ログを表示するには、表示する内容を選びます。

■ログタイプ

システム (初期値)

ファイアウォール&セキュリティ

ルーター状態

■ログレベル

重大

警告

情報 (初期値)

■設定が終わったら、[OK]をクリック(タップ)すると内容が反映されます。

接続テスト

接続テストを行います。

ホスト名またはIPアドレスを入力し、[Ping]をクリック(タップ)してください。接続テストの結果が表示されます。

ルーター機能の設定

■設定が終わったら、
[OK]をクリック(タップ)すると内容が反映
されます。

ケーブルモデム

本機のケーブルモデムの情報を表示します。

3 設定画面で [ケーブルモデム] をクリック(タップ)する

- 動作モード2、3、4(☞ 45ページ)に設定している場合は、表示されません。

ケーブルモデム情報

ケーブルモデム情報				
ケーブルモデム情報				
IPアドレス			
MACアドレス	04:23:54:04:17:82			
ソフトウェアバージョン	1.1.0.12			
接続状態	Search			
ダウンストリーム	周波数	RXレベル	SNR	変調方式
ch1	977.00 MHz	--	--	--
ch2	--	--	--	--
ch3	--	--	--	--
ch4	--	--	--	--
アップストリーム	周波数	TXレベル	変調方式	
ch1	--	--	--	
ch2	--	--	--	
ch3	--	--	--	
ch4	--	--	--	


ケーブルモデム情報画面

放送システムの設定

- 本機の設定画面はパソコンやスマートフォンなどのブラウザを使ってアクセスしてください。
- 動作モード3(アクセスポイントモード/有線ブリッジ)または動作モード4(クライアントモード)に設定しているときは(☞ 45ページ)、パソコンやスマートフォンのIPアドレスを「192.168.100.xxx」に設定しておく必要があります。

放送システムの設定画面の出しかた


1 本機とパソコンなどをLAN接続している状態で、Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動して、Webブラウザのアドレスバーに「http://tzcmp01/」と入力し、Enterキーを押す



↓

●接続認証画面が表示されます。
●接続認証画面が表示されないときは、下記をアドレスバーに入力してください。
動作モード1、2：
http://192.168.0.1/
動作モード3、4：
http://192.168.100.100/


2 ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]をクリック(タップ)する



初期値
ユーザー名：admin
パスワード：なし

3 [放送システム]をクリック(タップ)する

認証に成功すると設定画面が表示されます
●本機の設定状態が表示されます。



●放送システムの設定

- 設置設定 (☞ 64ページ)
- LAN設定 (☞ 65ページ)
- 放送メール (☞ 67ページ)
- ステータス表示 (☞ 67ページ)
- ボード表示 (☞ 67ページ)
- 予約履歴 (☞ 68ページ)
- 録画設定 (☞ 68ページ)
- USB HDD機器一覧 (☞ 69ページ)
- ソフトウェア更新設定 (☞ 70ページ)
- 設定リセット (☞ 70ページ)

本機の設定

放送システムの設定

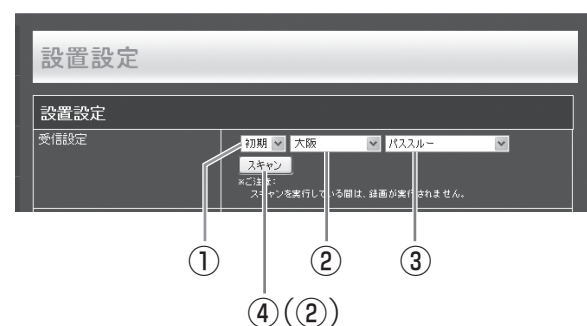
本機を設置するときに設定してください。

設置設定

受信設定

本機で受信するチャンネルを設定します。

4 [設置設定]をクリック(タップ)する



初期スキャン

- ① [初期]を選ぶ
- ② お住まいの地域を選ぶ
- ③ チャンネルスキャンの方式を選ぶ

(初期値)

- 設定の変更はご加入のケーブルテレビ局にご確認ください。

4 [スキャン]をクリック(タップ)する

- 受信できるチャンネルを調べて新しく一覧表示します。(最大約10分)
※今までの設定は全てリセットされます。
- スキャン中は放送転送や予約録画はできません。

再スキャン

- ① [再]を選ぶ
- ② [スキャン]をクリック(タップ)する

- 新しく受信できるチャンネルがないかを調べて、新たに受信できたチャンネルを自動的に追加します。
- 「地域」や「チャンネルスキャンの方式」は、初期スキャン時の設定で行われます。

カードテスト

お使いのカードが正常かどうか確認します。

4 [設置設定]をクリック(タップ)する



B-CASカードテスト

- ① [B-CAS]を選ぶ
- ② [実行]をクリック(タップ)する
 - テスト結果が表示されます。
 - NGが出たらカードの挿入を確認してください。(P.13ページ)

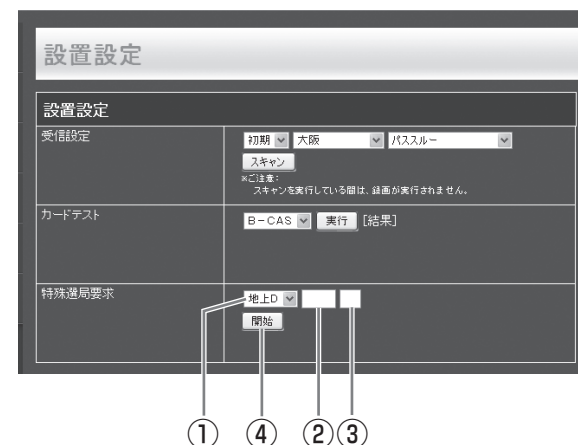
C-CASカードテスト

- ① [C-CAS]を選ぶ
- ② [実行]をクリック(タップ)する
 - テスト結果が表示されます。
 - NGが出たらカードの挿入を確認してください。(P.13ページ)

特殊選局要求

テレビサービス以外のチャンネルを受信するための操作です。

4 [設置設定]をクリック(タップ)する



① ネットワークを選ぶ

- ② 選局したい放送局の3桁チャンネルを入力する
- ③ 選局したい放送局の枝番を入力する
- ④ [開始]をクリック(タップ)する
 - 設定した放送を受信します。

■設定が終わったら、[設定]をクリック(タップ)すると内容が反映されます。

LAN設定

本機の放送システムをネットワークに接続するための設定です。

- 設定について不明な点がございましたら、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
- ご加入のケーブルテレビ局以外のプロバイダー経由でインターネット接続されている場合は、ご加入のプロバイダーにご相談ください。

4 [LAN設定]をクリック(タップ)する



① IPアドレス自動取得

5 IPアドレスの取得方法を選ぶ

IPアドレスなどを自動で取得する (初期値)
 IPアドレスなどを手動で入力する

- 設定内容は[設定]をクリック(タップ)すると反映されます。
- 「する」を選ぶと、IPアドレス欄に入力しても設定に反映されません。

動作モード3、4に設定している場合に、ブロードバンドルーターやルーター機能付きモデムをお使いの場合は、通常DHCPでのIPアドレス自動取得が使えます。それぞれの機器の説明書をご覧ください。

放送システムの設定

② DNS-IP自動取得

5 DNS-IPの取得方法を選ぶ

する DNSのIPアドレスを自動で取得する(初期値)

しない DNSのIPアドレスを手動で入力する

- 設定内容は[設定]をクリック(タップ)すると反映されます。
- 「する」を選ぶと、DNSのIPアドレス欄に入力しても設定に反映されません。

IPアドレスについて

ネットワーク上の機器を識別するために指定する識別用の番号です。本機では、DLNA対応機器との通信用のIPアドレスとルーター機能を設定するIPアドレスを個別に設定できます。

③ 接続テストの実施

6 接続テストをするかどうかを選ぶ

する 設定反映後に接続テストを行うかどうかを設定します。「する」を選び、[設定]をクリック(タップ)すると、設定内容の更新後に自動的に接続テストを行います。エラーメッセージが表示された場合は、内容を確認して接続や設定をご確認ください。

しない 接続テストは行わず、設定内容を最新状態にします。(初期値)

④ MACアドレス

本機の放送システムのMACアドレスを表示します。

手順5で「しない」を選び、IPアドレスなどを手動で入力する場合

- ケーブルテレビ局やプロバイダーなどの指示に従い各項目を入力してください。
- 範囲外の数値を入力した場合は、エラーメッセージが表示されます。

IPアドレス

本機の放送システムが使用するIPアドレスです。

サブネットマスク

ネットワークを効率的に使うために、本機につながる機器のIPアドレスを絞り込むための数字です。(例：255.255.255.0)

ゲートウェイアドレス

インターネットへのアクセスで経由すべき機器のIPアドレスです。動作モード1、2のときは本機のIPアドレス(例：192.168.0.1)、動作モード3、4のときは、通常はブロードバンドルーターのIPアドレスを言います。

プライマリDNS

入力されたURLなどから、接続先のIPアドレスを検索するデータベースのアドレスです。(例：192.168.0.1)

セカンダリDNS

プライマリDNSで接続先が見つからない場合の予備です。

放送メール

ご加入のケーブルテレビ局や本機からのお知らせや情報を確認します。

4 [放送メール]をクリック(タップ)する

放送メール		
未読	CS2	メール 1
未読	CS2	メール 2
未読	CS2	メール 3
未読	CS2	メール 4
未読	CS2	メール 5
未読	CS2	メール 6
未読	CS2	メール 7
未読	地上D	メール 8

受信ネットワークを表示

未読/既読を表示

最新の31件を表示

- 見たいメールを選んでクリック(タップ)すると本文(内容)が表示されます。
- [戻る]をクリック(タップ)すると一覧に戻ります。

- ICカードが挿入されていないと、メールを受信できない場合があります。
- メールの内容に合わせて、ボタンが表示されることがあります。選んで決定すると、関連画面を表示します。
- インターネットメールではありません。
- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により表示が異なります。
- 放送メールには、ご加入のケーブルテレビ局からのお知らせ(最大31通まで保存)や、本機の機能向上のためのダウンロード情報(最新の1通のみ保存)などがあります。

■設定が終わったら、[設定]をクリック(タップ)すると内容が反映されます。

ステータス表示

お使いのICカードに関する情報などを表示します。

4 [ステータス表示]をクリック(タップ)する

ステータス表示	
B-CASカード	カード識別 カードID: 0000 0000 0000 0000 グループID:
C-CASカード	カード識別 カードID:
STB-ID	1900-0000-0000
デューダID	7400-0000
ステータス	0080-2000 0000-0000 0100F-00000

ボード表示

CS1、CS2で送られてくるボード情報を確認します。

※ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容によっては、表示されない場合があります。

4 [ボード表示]をクリック(タップ)する

ボード表示	
CS1ボード	
CS1	CS2
CS 放送からお客さまへの情報 1	
CS 放送からお客さまへの情報 2	
CS 放送からお客さまへの情報 3	
CS 放送からお客さまへの情報 4	
CS 放送からお客さまへの情報 5	

① 表示したいボードをクリック(タップ)する

② 確認したい情報を選びクリック(タップ)する

- 本文(内容)が表示されます。
- [戻る]をクリック(タップ)すると一覧に戻ります。

放送システムの設定

ソフトウェア更新設定

ご加入のケーブルテレビ局からの情報で、本機の制御プログラムを最新のもの書き換えます。

4 [ソフトウェア更新設定]をクリック(タップ)する



放送ダウンロード予約

1 ダウンロード予約の方法を選ぶ

- 自動** (初期値) 通常は「自動」をおすすめします。情報が届くと、自動的にダウンロードを実行します。
- 手動** 情報が届くと、放送メールでお知らせします。メールを確認し「する」「しない」を選んでください。(放送メール ☎ 67ページ)

2 [設定]をクリック(タップ)する

ソフトウェア更新(ネットワーク)

本機をネットワーク接続している場合に、ソフトウェアの更新状況を確認できます。

1 [実行]をクリック(タップ)する

- 更新する場合は、画面の指示に従ってください。

お知らせ

- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により、ご利用できない場合があります。
- 更新中は他の操作はできません。また、故障の原因となりますので、ACアダプターをコンセントから抜かないでください。

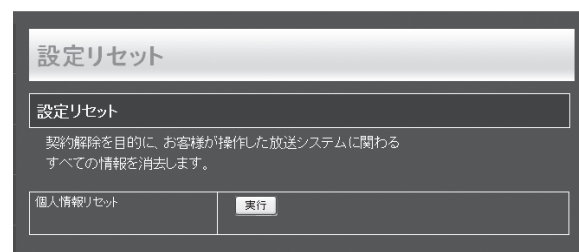
■設定が終わったら、
[設定]をクリック(タップ)すると内容が反映されます。

設定リセット

本機の放送システムの設定内容をリセットします。ただし、受信設定の内容や登録したUSBハードディスクの情報はリセットされません。

- ケーブルテレビの契約解除などで、個人情報を消去したいときに行ってください。

4 [設定リセット]をクリック(タップ)する



5 [実行]をクリック(タップ)する

「全ての設定の初期化が終了しました。
自動的に再起動します。」
のメッセージが表示されます。

- 自動で再起動し、設定画面が表示されます。

お知らせ

- 本機に記録されているお客様に関する個人情報(放送メールや予約履歴など)が、すべて削除されます。(ルーターの設定は除く)
- 録画中は、個人情報リセットはできません。

設定メニュー

メニュー項目	設定項目	ページ
メイン	ルーター情報	44
	動作モード	45
インターネット ^{*1}	接続状態	46
	接続設定	46
	DDNS	47
LAN ^{*1}	LAN設定	47
	DHCPサーバー	48
	DHCP固定割り当て設定	48
	無線LAN設定	49
無線LAN	WPS	52
	セカンダリ無線LAN設定	54
詳細設定 ^{*1}	ポートフォワード	55
	ファイアウォール	56
	MACフィルター	56
	ウェブサイトフィルター	57
	DMZ	57
	ルーティング	57
	QoS	57
	ALG	58
	UPnP	58
	その他設定	59
	管理	管理者
日付と時刻		60
システム		60
ファームウェア		60
ログ		61
接続テスト		61
ケーブルモデム ^{*2}	ケーブルモデム情報	62

メニュー項目	設定項目	詳細設定項目	ページ	
放送システム	設置設定	受信設定	64	
		カードテスト	64	
		特殊選局要求	65	
	LAN設定	接続テストの実施	66	
		IPアドレス自動取得	65	
		IPアドレス	66	
		サブネットマスク	66	
		ゲートウェイアドレス	66	
		DNS-IP自動取得	66	
		プライマリDNS	66	
		セカンダリDNS	66	
		MACアドレス	66	
	放送メール			67
	ステータス表示			67
ボード表示			67	
予約履歴			68	
録画設定	機器パスワード初期化	機器パスワード初期化	68	
		機器ID	68	
		機器接続状態	68	
		DR録画	68	
USB HDD機器一覧			69	
ソフトウェア更新設定	放送ダウンロード予約		70	
	ソフトウェア更新(ネットワーク)		70	
設定リセット	個人情報リセット		70	

お知らせ

- 詳細については該当のページをご覧ください。

※1 動作モード3、4(☎ 14、45ページ)に設定している場合は、表示されません。
 ※2 動作モード2、3、4(☎ 14、45ページ)に設定している場合は、表示されません。

Q&A

症状	原因と処置	ページ
ダウンロードを行ったら、受信できなくなった	<ul style="list-style-type: none"> ●ダウンロードの内容によっては、各種設定が工場出荷時の設定値に戻る場合があります。再度設定をやり直してください。 	—
電源が入らなくなった (電源表示ランプが消灯状態)	<ul style="list-style-type: none"> ●ACアダプターを一度抜き、1分間程度おいてから再度ACアダプターを差込み、電源を入れてください。 →症状が改善しない場合は、ケーブルテレビ局にご相談ください。 	15
電源を入れても映像がすぐに出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●本機は電源を入れても、ソフトウェアが起動して映像を表示するまでに時間がかかる場合があります。 	—
有料放送の視聴ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●ICカードが正しく挿入されていますか？ →「カードテスト」が「OK」か確認してください。 	13
	<ul style="list-style-type: none"> ●有料放送を視聴するための手続きはされていますか？ →視聴契約手続きをしてください。 	64
	<ul style="list-style-type: none"> ●ネットワークの接続は正しくされていますか？ →「接続テスト」が「OK」か確認してください。 	14
		61 66
本機に触れると熱い	<ul style="list-style-type: none"> ●本機は放熱のため本体の一部で温度が高くなります。品質・性能には異常ありません。(風通しの良い所に設置してください。) 	8
無線LAN使用時、映像が途切れたり、接続が切れる	<ul style="list-style-type: none"> ●本機をアクセスポイントとして使用する場合は、SSID2(通信周波数帯5 GHz)、SSIDの動作モード11nを推奨します。(本機の場合は802.11a/nに設定してください。) ●他のSSIDやSSIDの動作モードでも通信できますが、大容量のデータを送受信する(放送転送やインターネットで動画を見るなど)と、映像が途切れたり、接続が切れることがあります。 	50
	<ul style="list-style-type: none"> ●本機以外の11n(5 GHz)対応のアクセスポイントを使用している場合、アクセスポイントの設定を無線方式11n(5 GHz)にしていますか？ (詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。) 	50
	<ul style="list-style-type: none"> ●電波を使う機器が近くにある場合は、機器から離してご使用ください。(電子レンジ、デジタルコードレス電話機など) 	8
	<ul style="list-style-type: none"> ●ご使用の環境によっては、SSID2(通信周波数帯5 GHz)で接続している場合は、SSID1(通信周波数帯2.4 GHz)で接続すると改善する場合があります。 	16
	<ul style="list-style-type: none"> ●Webページなどでは、ネットワークサーバーが混雑し負荷がかかっている場合、接続状態が悪くなる場合があります。しばらくしてから接続しなおしてください。 	—

症状	原因と処置	ページ
録画予約が正常にできない	<ul style="list-style-type: none"> ●動作確認済みのUSBハードディスクを使用しているか確認してください。 	30
	<ul style="list-style-type: none"> ●USBハードディスクと本機が正常に接続されているか確認してください。 	30
	<ul style="list-style-type: none"> ●USBハードディスクが事前に機器登録されているか確認してください。 	69
	<ul style="list-style-type: none"> ●予約開始時にUSBハードディスクの電源が入っていなかったため、録画を実行できなかった可能性があります。 →予約開始前にUSBハードディスクが録画可能な状態であることを確認してください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> ●USBハードディスクの容量が不足している場合は正しく録画できません。 →予約開始前にUSBハードディスクが録画可能な状態であることを確認してください。 	69
	<ul style="list-style-type: none"> ●番組のコピー制限により、録画されなかった可能性があります。 →予約履歴で確認してください。 	68
	<ul style="list-style-type: none"> ●録画予約時に停電などが発生したために正しく録画予約を実行できなかった可能性があります。 →予約履歴で確認してください。 	68
	<ul style="list-style-type: none"> ●録画予約開始時にICカードが正しく挿入されていなかった可能性があります。 →予約履歴で確認してください。 	13
	<ul style="list-style-type: none"> →「カードテスト」が「OK」か確認してください。 	68 64
	<ul style="list-style-type: none"> ●録画予約開始時の契約状態により、正しく録画されなかった可能性があります。 →予約履歴で確認してください。 	68
録画した番組が視聴できない	<ul style="list-style-type: none"> ●USBハードディスクと本機が正常に接続され、USBハードディスクの電源が入っているか確認してください。 	30
	<ul style="list-style-type: none"> ●機器登録を削除したUSBハードディスクは、これまでに録画した番組は再生できなくなります。 	69

メッセージ表示一覧

ネットワーク関連のメッセージ表示

ネットワーク設定時の主なエラーメッセージと内容は、下記の通りです。

メッセージ	内容
IPアドレスが取得できませんでした。 (C203)	ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
接続テストに失敗しました。 (C207)	
IPアドレスの重複を検出しました。 設定をご確認ください。 (C204)	
接続テストを実行できませんでした。 (C205)	一度、本機のACアダプターをコンセントから抜いて入れなおして、再度実行してください。 それでも症状が改善しない場合、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
アドレスが正しく設定できませんでした。 (C206)	

仕様

品名	無線LAN対応ケーブルモデム
品番	TZ-CMP01M
使用電源	DC12 V 2.0 A(付属ACアダプター使用時)
	ACアダプター 入力：AC100 V、50 Hz/60 Hz両用 出力：DC12 V、2.0 A
消費電力	17 W (電源オン時)
デジタル放送	●受信変調方式： 64QAM(Annex.C) 受信周波数帯域： 90 MHz~770 MHz 入力レベル： 49~81 dB μ V(平均値)
	●受信変調方式： OFDM 受信周波数帯域： 90 MHz~770 MHz 入力レベル： 47~81 dB μ V(平均値)
ケーブルモデム	●受信変調方式： 64QAM/256QAM(Annex.B) 受信周波数帯域： 90 MHz~1000 MHz 入力レベル： 45~79 dB μ V(平均値) ●送信変調方式： QPSK/8/16/32/64/128QAM 送信周波数帯域： 5 MHz~65 MHz 出力レベル： 最大121 dB μ V
無線LAN	●準拠規格： IEEE802.11a/g/b/n ●モード： アクセスポイント/クライアント切替方式 ●使用周波数範囲/チャンネル(中心周波数)： 2.412 GHz~2.472 GHz / 1~13ch 5.180 GHz~5.240 GHz / W52 : 36,40,44,48ch 5.260 GHz~5.320 GHz / W53 : 52,56,60,64ch 5.500 GHz~5.700 GHz / W56 : 100,104,108, 112,116,120,124,128,132,136,140ch ●セキュリティ： WPA2-PSK(TKIP/AES) WPA-PSK(TKIP/AES) WEP(64 bit/128 bit)
接続端子	●ケーブル端子： F型接栓、75 Ω ●LAN端子： 3系統(10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T) 1系統はWAN/LAN共用端子 (ケーブルモデム未使用時、WAN端子として使用可能)
	●電源入力端子(DC IN 12 V) ●ICカード挿入口(B-CAS/C-CASカード)
	●USB端子： USB2.0 High Speed (USB HDD用) (DC 5 V MAX100 mA)
外形寸法	幅70 mm・高さ196.5 mm(脚含む)・奥行き185 mm(端子含まず)
質量	約0.7 kg
環境条件	使用周囲温度範囲： 0 $^{\circ}$ C~40 $^{\circ}$ C 許容相対湿度範囲： 10 %~80 %(結露のないこと)

- 本機の仕様および外観、本書に記載の画面は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- ※ 本機を使用できるのは、日本国内のご加入されているケーブルテレビ局サービスエリア内のみです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
- * This device can only be used inside Japan in areas that are covered by subscription cable TV services. Because of differences in broadcast formats and power supply voltages, it cannot be used in overseas countries.

商標などについて

- “Wi-Fi”、“Wi-Fi Protected Setup”、“WPA”、“WPA2”は“Wi-Fi Alliance”の商標または登録商標です。
 - DiXiM[®]は、株式会社デジオンの登録商標です。
 - Mac、Mac OS、iPhone、iPad、iPod touch、Safari、App Storeは、米国およびその他の国で登録された米国Apple Inc.の登録商標または商標です。
 - iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
 - Windows[®]は、Microsoft[®] Windows[®] operating systemの略称、Windows[®]XP はMicrosoft[®] Windows[®] XP operating systemの略称、Windows Vista[®]はWindows Vista[®] operating systemの略称、Windows[®] 7はMicrosoft[®] Windows[®] 7 operating systemの略称、Windows[®] 8はMicrosoft[®] Windows[®] 8 operating systemの略称として記載しています。
 - Microsoft[®]、Windows[®]、Windows Vista[®]およびInternet Explorer[®]は、米国Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
 - Android[™]は、Google Inc.の商標または登録商標です。
 - CP8 PATENT
 - HDAVI Control[™]は商標です。
 - DLNA[®]、the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED[™] are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
 - 本機は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
 - ・AVC規格に準拠する動画(以下、AVCビデオ)を記録する場合
 - ・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
 - ・ライセンスをうけた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合
 詳細については米国法人MPEG LA, LLC(<http://www.mpegla.com>)を参照ください。
- なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
- この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、設定画面の「放送システム」→「ステータス表示」をご参照ください。(P.67ページ)

お手入れ

■本体の汚れは柔らかい布(綿・ネル地・クリーニングクロスなど)で軽くふき取ってください。

- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ひどい汚れは、ほこりをはらったあと、水で100倍程度に薄めた中性洗剤にひたした布を、かたく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



■スプレー洗剤などは直接かけないでください。

- 水などの液体が内部に入ると、故障の原因になります。

■殺虫剤、ベンジン、シンナー、アルコールなど揮発性のものをかけないでください。

- 本体の変質や塗装がはがれる原因になります。

無線LAN使用上のご注意

■使用周波数帯

無線LANは2.4 GHz 帯と5 GHz 帯の周波数帯を使用します。
他の無線機器も同じ周波数帯を使用している可能性があります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

■使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を有する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、ご加入のケーブルテレビ局にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談してください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、ご加入のケーブルテレビ局へご相談ください。

■機器認定

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。

- ・分解/改造する
- ・本機に貼ってある証明ラベルをはがす

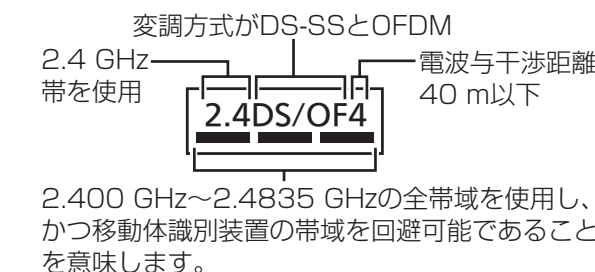
■使用制限

- ・日本国内でのみ使用できます。
- ・法令により本機の5 GHz帯無線装置を屋外で使用することは禁止されています。

■無線LANの仕様

準拠規格	IEEE802.11a/b/g/n
使用周波数範囲/ チャンネル (中心周波数)	2.412 GHz~2.472 GHz /1~13ch 5.180 GHz~5.240 GHz /W52:36, 40, 44, 48ch 5.260 GHz~5.320 GHz /W53:52, 56, 60, 64ch 5.500 GHz~5.700 GHz /W56:100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch
セキュリティ	WPA2-PSK(TKIP/AES) WPA-PSK(TKIP/AES) WEP(64bit/128bit)

■無線LANの周波数表示の見かた(本機側面に記載)



W52(5.2 GHz帯 36, 40, 44, 48ch)、
W53(5.3 GHz帯 52, 56, 60, 64ch)、
W56(5.6 GHz帯 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch)が使用できることを意味します。

●無線LAN使用上のご注意
●商標などについて
●お手入れ

必要なとき

英数字	ページ
3桁入力選局	36
ACアダプター	5、6、15
ALG	58
B-CAS	10
B-CASカード	13
B-CASカードテスト	64
C-CAS	10
C-CASカード	13
C-CASカードテスト	64
DDNS	47
DDNS設定	47
DHCP固定割り当て設定	48
DHCPサーバー	48
DHCPサーバー設定	48
DiXiM CATV Player	32
DiXiM CATV Player(設定)	41
DMZ	57
DNS-IP自動取得	66
DR録画	68
ICカード	13
ICカード挿入口	10、13
IPアドレス自動取得	65
LAN	47
LAN設定(ルーター)	47
LAN設定(放送システム)	65
LAN端子	10
MACアドレス	48、56、66
MACフィルター	56
PINコード	52、53
Q&A	72
QoS	57
SSID	16、50
SSID表示	51
UPnP	58
USB HDD機器一覧	69
USBハードディスク	30
USB端子	10
WAN Ping	59
WAN端子	10
Webブラウザ	40
WEP	52
WEPキー	52、54
WEPキー長	52、54
WMM有効	51
WPA	51
WPAモード	51、54
WPS	17、52
WPSボタン	10、17、53

あ行	ページ
アクセスポイントモード	14、45、49
暗号化タイプ	51、54
インターネット	46
インターネット接続状態	46
ウェブサイトフィルター	57
お好み選局	41
お好みリスト選局	35
お手入れ	76
音声切替	41

か行	ページ
カードテスト	64
管理	59
管理者	59
管理者パスワード	59
機器ID	68
機器接続状態	68
機器パスワード初期化	68
クライアントモード	14、45、49
グループキーのアップデート間隔	51、54
ケーブル端子	10
ケーブルテレビ宅内線	12
ケーブルモデム	62
ケーブルモデム情報	62
工場出荷時設定	60
更新通知でリロードする	41
固定IPアドレス設定	48

さ行	ページ
再起動	60
再スキャン	64
再生中画面	38
再生品質	41
システム	60
視聴制限番組の年齢設定	41
視聴中画面	37
自動チャンネルスキャン	50
受信設定	64
仕様	75
詳細設定	55
使用する機器	41
商標	76
初期スキャン	64
スキップ間隔	41
スタンド	10
ステータス表示	67
ステータスランプ	10、11
スマートフォン	16

セカンダリ無線LAN設定	54
セキュリティモード	54
接続	14
接続可能なネットワーク表示	52
接続設定	46
接続テスト	61
接続テストの実施(放送システム)	66
設置設定	64
設定画面(ルーター)	43
設定画面(放送システム)	63
設定メニュー	71
設定リセット(放送システム)	70
その他設定	59
ソフトウェア更新(ネットワーク)	70
ソフトウェア更新設定(放送システム)	70

た行	ページ
タイムゾーン	60
ダビング	39
チャンネル	50
チャンネル幅	50
チャンネルリスト選局	35
通信チャンネル	50
電源入力端子	10、15
電源表示ランプ	10、11
動作モード	14、45
特殊選局要求	65

な行	ページ
夏時間	60
認証	52、54
ネットランプ	10、11
ネットワーク名	50、54

は行	ページ
ハードディスク	30
パスコード	51、54
日付と時刻	60
日付と時刻の自動設定	60
ファームウェア	60
ファームウェアの更新	60
ファイアウォール	56
ファイルから設定を復元	60
ファイルに設定を保存	60
付属品	裏表紙
放送システム	63
放送設定	41
放送ダウンロード予約	70
放送メール	67

ボード表示	67
ポートフォワード	55

ま行	ページ
マルチキャストストリーム	59
無線LAN	16、49、77
無線LANセキュリティモード	51
無線LAN接続(PCなど)	19、23~25
無線LAN接続(スマートフォン)	16~18
無線LAN設定	45、49、51
無線LAN設定(PCなど)	20~22
無線LANモード	49
無線動作モード	50
メイン	44
メッセージ表示一覧	74

や行	ページ
有線LAN接続	26
有線LAN設定	27~29
予約履歴	68

ら行	ページ
リセットボタン	10
リモート予約	42
ルーター情報	44
ルーティング	57
レジューム再生	41
連続再生	41
ログ	61
録画設定	68
録画番組を再生する	38
録画予約する	42